

杜 の 街 開 発 事 業
に 係 る 事 後 調 査 報 告 書

（Ⅰ期工事区域：供用後）

（Ⅱ期工事区域：工事中）

（Ⅲ期工事区域：工事中）

令和 8 年 4 月

三交不動産株式会社

はじめに

本報告書は、杜の街開発事業(旧名称：河芸グリーンガーデン複合開発事業)の実施にあたり、「河芸グリーンガーデン複合開発事業に係る環境影響評価書(以下、「評価書」という)」に記載した「事後調査実施計画」に従い、工事中に行うとした水質調査、特筆すべき動物調査、及び供用後に行うとした水質調査の令和7年度調査結果について記載したものです。

なお、調査及びとりまとめは、一般財団法人三重県環境保全事業団が行いました。

目 次

1	事業の概要.....	1
1-1	氏名及び住所.....	1
1-2	指定事業の名称、実施場所及び規模.....	1
1-3	工事の進捗状況.....	1
2	本調査の位置付け.....	1
3	水 質.....	5
3-1	調査概要.....	5
3-2	調査年月日及び調査内容.....	5
3-3	調査地点.....	6
3-4	調査項目及び分析方法.....	9
3-5	調査結果.....	10
3-5-1	工事中の濁水.....	10
3-5-2	供用後の水質.....	13
4	特筆すべき動物.....	14
4-1	オオタカ、ハイタカ、チョウゲンボウ.....	14
4-1-1	調査概要.....	14
4-1-2	調査年月日及び調査内容.....	14
4-1-3	調査場所.....	14
4-1-4	調査方法.....	14
4-1-5	調査結果.....	16
4-2	コアジサシ、オオヨシキリ、チュウサギ、サンコウチョウ.....	22
4-2-1	調査概要.....	22
4-2-2	調査年月日及び調査内容.....	22
4-2-3	調査ルート.....	22
4-2-4	調査方法.....	22
4-2-5	調査結果.....	24
4-3	カスミサンショウウオ.....	26
4-3-1	調査概要.....	26
4-3-2	調査年月日及び調査内容.....	26
4-3-3	調査場所.....	26
4-3-4	調査方法.....	26
4-3-5	調査結果.....	28
4-4	ダルマガエル.....	35

4-4-1	調査概要.....	35
4-4-2	調査年月日及び調査内容.....	35
4-4-3	調査場所.....	35
4-4-4	調査方法.....	35
4-4-5	調査結果.....	35

<資料編>

1 事業の概要

1-1 氏名及び住所

氏 名：三交不動産株式会社 代表取締役社長 中村 充孝
住 所：三重県津市丸之内 9 番 18 号

1-2 指定事業の名称、実施場所及び規模

名 称：杜の街開発事業(旧名称：河芸グリーンガーデン複合開発事業)
実施場所：三重県津市河芸町杜の街地内
規 模：総事業面積 1,190,069.54 m²

1-3 工事の進捗状況

令和 8 年 3 月現在の工事の進捗状況は、次のとおりです。(図 2-1 参照)

- ・Ⅰ期工事区域 — 供用中
- ・Ⅱ期工事区域 — 工事中及び一部供用
- ・Ⅲ期工事区域 — 工事中及び一部供用

2 本調査の位置付け

本調査の位置づけは、表 2-1～3 に示したとおりⅠ期工事区域は供用後(25 年目)の調査、Ⅱ期工事区域は一部で供用は開始していますが工事中(26 年目)の調査、Ⅲ期工事区域も一部で供用は開始していますが、工事中(15 年目)の調査になります。

表 2-1 調査一覧（Ⅰ期工事区域）

	着工前	工事中			供 用 後									
		H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
		1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
水 質	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
騒 音		○	○	○										
土 壌	○													
特筆すべき植物	○	○	○		○		☆							
特筆すべき動物		○	○	○	○	○	○		○		○			☆

○：調査実施済 ☆：動植物調査最終年度

	供 用 後														
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
水 質	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

○：調査実施済 ●：今年実施調査 ◎：次年以降調査予定

	供用後
	R8以降
	26～
水 質	◎

○：調査実施済 ●：今年実施調査 ◎：次年以降調査予定

表 2-2 (1) 調査一覧（Ⅱ期工事区域）

	着工前 (H11年)	工 事 中											
		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
水 質		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
騒 音		○	○	○	○	○							
特筆すべき植物	○	○		○		☆							
特筆すべき動物		△	△	△	△	○	△	○	△	○	○	△	○

○：調査実施済 ☆：動植物調査最終年度 △：Ⅰ期工事の調査で実施

注：平成 15 年より一部供用開始しているが、工事中としての位置付け。

	工 事 中													
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	24	24	25	26
水 質	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
特筆すべき動物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

○：調査実施済 ●：今年実施調査 ◎：次年以降調査予定

注：平成 15 年より一部供用開始しているが、工事中としての位置付け。

表 2-2 (2) 調査一覧 (Ⅱ期工事区域)

	工事中
	R8 以降
	27～
水 質	◎
特筆すべき動物	◎

○：調査実施済 ●：今年実施調査 ◎：次年以降調査予定

注：平成 15 年より一部供用開始しているが、工事中としての位置付け。

表 2-3 調査一覧 (Ⅲ期工事区域)

	着工前・ 工事中 (H23 年)	工 事 中									
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
水 質	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
騒 音	○	○									
特筆すべき植物	○	○		○		☆					
特筆すべき動物	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

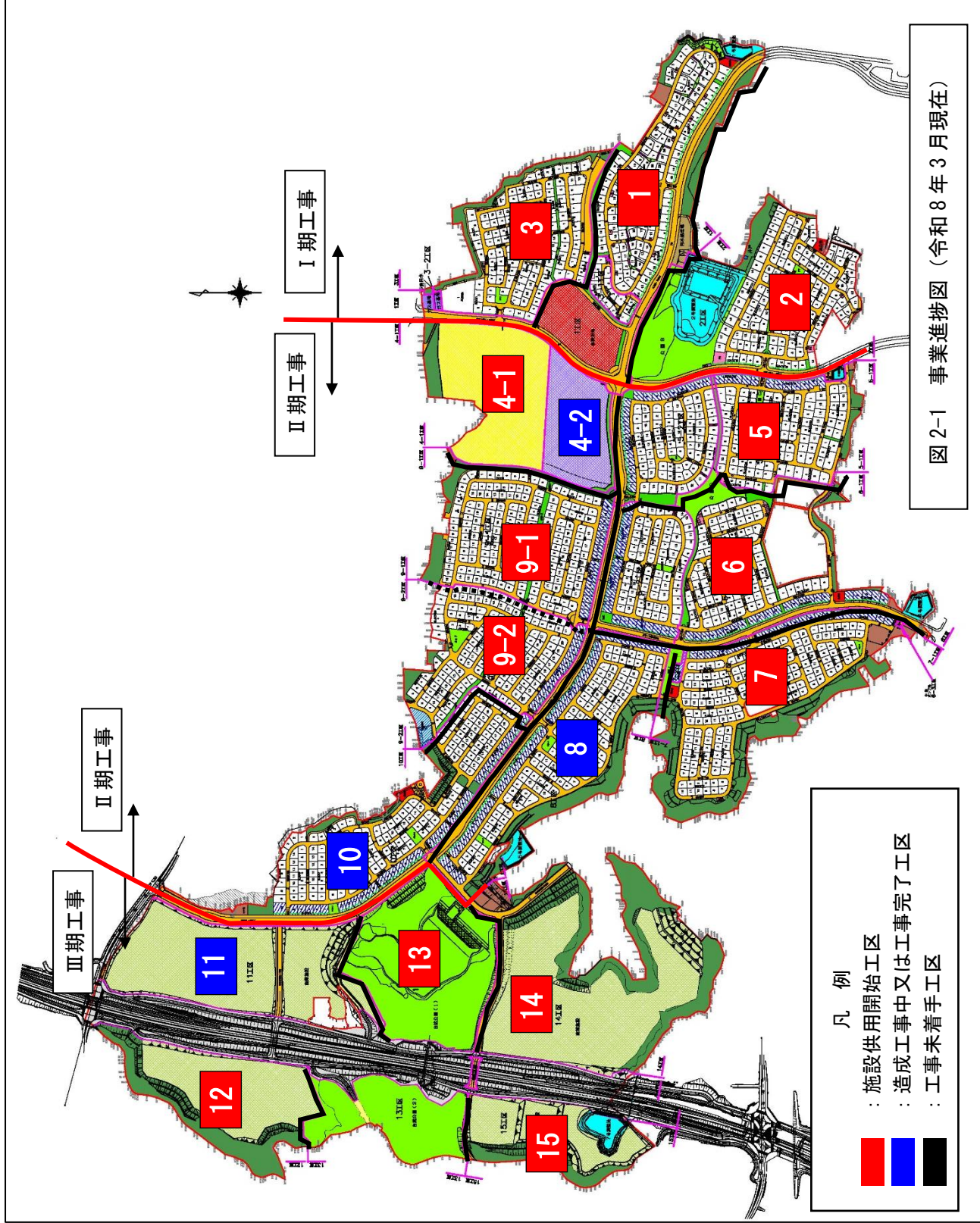
○：調査実施済 ☆：動植物調査最終年度 △：Ⅰ期またはⅡ期工事の調査で実施

注：平成 25 年より一部供用開始しているが、工事中としての位置付け。

	工 事 中				
	R4	R5	R6	R7	R8 以降
	12	13	14	15	16～
水 質	△	△	△	△	△
特筆すべき動物	△	△	△	△	△

△：Ⅰ期またはⅡ期工事の調査で実施

注：平成 25 年より一部供用開始しているが、工事中としての位置付け。



3 水 質

3-1 調査概要

Ⅱ期及びⅢ期工事区域での工事を受け、評価書の事後調査実施計画に示した各流域の最終沈砂池出口において、降雨時または降雨後の流出水の浮遊物質(SS)等の測定を実施しました。

また、Ⅰ期工事区域については、工事も完了しほぼ全域で供用が開始されていることから、処理水放流先河川である田中川の放流口前後において、晴天時に調査を実施しました。

3-2 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は、表 3-1 に示したとおりです。

また、濁水調査は調査 3 日前からの降雨状況を表 3-2 に示しました。

表 3-1 調査年月日及び調査内容

調査内容		調査年月日
工事中	濁水調査(降雨時) ※：豪雨時	令和 7 年 6 月 4 日
		令和 7 年 6 月 12 日※
		令和 7 年 7 月 15 日※
		令和 8 年 2 月 26 日
		令和 8 年 3 月 5 日
		令和 8 年 3 月 27 日
供用後	処理水調査(晴天時) (田中川の排水合流前・合流後)	令和 7 年 8 月 14 日
		令和 7 年 10 月 23 日
		令和 7 年 12 月 19 日
		令和 8 年 3 月 24 日

表 3-2 降雨状況

観測所名：津

単位：mm／日

測定日	調査当日	調査前日	調査 2 日前	調査 3 日前
令和 7 年 6 月 4 日	0.0	76.5	0.0	0.0
令和 7 年 6 月 12 日	0.0	22.5	30.0	25.5
令和 7 年 7 月 15 日	6.0	79.5	0.0	0.0
令和 8 年 2 月 26 日	0.0	21.5	0.0	0.0
令和 8 年 3 月 5 日	0.0	0.0	16.0	3.0
令和 8 年 3 月 27 日	0.0	8.0	40.5	0.0

出典：気象庁ホームページ(電子閲覧室)より

3-3 調査地点

工事中の濁水調査地点は図 3-1 (1) に示したとおり、過年度から継続して調査を実施している No.5 最終沈砂池出口と No.6 調整池の出口を調査地点とし、これらの流出先河川である田中川の上流と下流を合わせた計 4 地点で実施しました。

供用後の調査地点は図 3-1 (2) に示したとおり、田中川の処理水放流地点の上流と下流の 2 地点で実施しました。

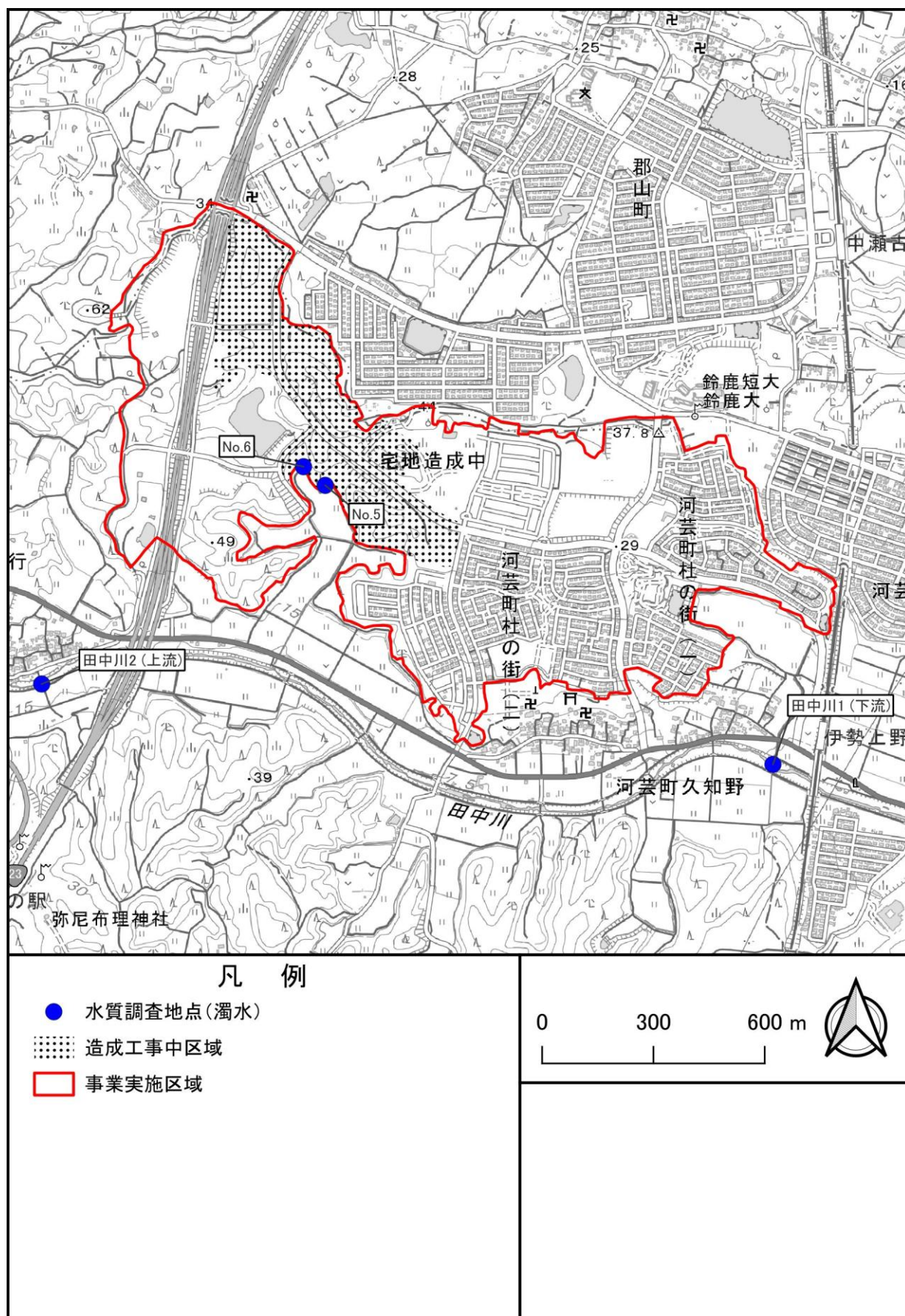


図 3-1(1) 水質調査地点(工事中の濁水)

3-4 調査項目及び分析方法

調査項目及び分析方法は、表 3-3 に示したとおりです。

表 3-3 調査項目及び分析方法

調査項目		分析方法
工事中	浮遊物質量(SS)	昭和 46 年環告 59 号付表 8
	濁 度	JIS K0102-1 9.5
供用後	水素イオン濃度(pH)	JIS K0102-1 12
	生物化学的酸素要求量(BOD)	JIS K0102-1 18
	化学的酸素要求量(COD)	JIS K0102-1 17.2
	浮遊物質量(SS)	昭和 46 年環告 59 号付表 8
	n-ヘキサン抽出物質	JIS K0102-1 22.5
	溶存酸素(DO)	JIS K0102-1 21.5
	大腸菌数(CFU)	JIS K0102-5 5.6.2
	全窒素(T-N)	JIS K0102-2 17.5
	全磷(T-P)	JIS K0102-2 18.4.6
	流 量	JIS K 0094 8

3-5 調査結果

3-5-1 工事中の濁水

(1) 調査結果

SS、濁度の調査結果は表 3-4、5 に示したとおりです。

調査の結果、調整池での降雨時の SS 濃度、濁度の最大値はいずれも令和 7 年 7 月 15 日調査時の No.5 最終沈砂池出口で、SS 濃度が 150mg/L、濁度が 210 度でした。

また、田中川での、SS 濃度、濁度の最大値はいずれも令和 7 年 7 月 15 日調査時の田中川 1 (下流側) で、SS 濃度が 32mg/L、濁度が 45 度でした。

次に、今回の結果を評価書における予測結果(Ⅱ、Ⅲ期工事実施時の SS 濃度予測結果：降水量 40mm/日)と比べてみると、No.5 最終沈砂池出口においては、全ての調査日で予測結果(12mg/L)を上回る結果となりました。一方、No.6 調整池出口においては、全ての調査日で予測結果(23mg/L)を下回る結果となりました。また、降水量が多かった令和 7 年 6 月 12 日及び 7 月 15 日は、豪雨時の予測結果と比較したところ、No.5 最終沈砂池出口においては、いずれの調査日でも予測結果(48mg/L)を上回る結果となりました。一方、No.6 調整池出口においては、いずれの調査日でも予測結果(93mg/L)を下回る結果となりました。

上述したとおり、No.5 最終沈砂池出口では予測結果を上回りました。これは昨年度と同様に、同地点が仮設の沈砂池であり、堆積した土砂の影響を受けやすいことが要因と考えられます。但し、放流先河川である田中川下流側では全ての調査日で予測結果(20mg/L)を下回る結果となったため、流出河川への著しい影響は生じていないものと考えられます。

採水状況等の調査風景は、資料編の写真 2-1-1～24 に示したとおりです。

表 3-4 水質調査結果 (SS)

単位 : mg/L

時期 地点	通常降雨時					豪雨時		
	R7	R8			評価書予測結果	R7		評価書予測結果
	6/4	2/26	3/5	3/27	雨量(40 mm/日)	6/12	7/15	雨量(188mm/日)
No.5	140	13	14	15	12	120	150	48
No.6	2.6	1.9	4.8	5.5	23	5.7	4.1	93
田中川 1 (下流側)	15	4.6	5.4	15	20	15	32	—※
田中川 2 (上流側)	11	2.5	2.1	5.9	—※	10	13	—※

※ : 環境影響評価書において予測は実施されていない。

表 3-5 水質調査結果 (濁度)

単位 : 度

時期 地点	通常降雨時				豪雨時	
	R7. 6. 4	R8. 2. 26	R8. 3. 5	R8. 3. 27	R7. 6. 12	R7. 7. 15
No.5	190	28	24	19	180	210
No.6	5.9	3.7	2.7	6.2	4.2	5.6
田中川 1(下流側)	18	6.5	3.5	12	12	45
田中川 2(上流側)	10	2.8	1.7	3.9	5.6	13

(2) まとめ

今回の調査結果を昨年度の結果と比較し、表 3-6 に示しました。

調査結果をみると、No.5、No.6 では SS 濃度・濁度が昨年度の平均値を上回りました。また、田中川 1（下流側）、田中川 2（上流側）では SS 濃度・濁度が昨年度の平均値を下回りました。

これまでに以下のとおり、濁水対策を実施しています。

- ・ No. 5 沈砂池内の浚渫
- ・ 放流部にろ過機能となる砕石パック等を設置
- ・ 造成後の裸地部については早期緑化に努め、濁水負荷の軽減

濁水については、流入する田中川下流の地域住民や漁協等から、これまで苦情等は受けていませんが、引き続き調査を継続するとともに、巡回・監視等や必要に応じて濁水負荷軽減措置を講じるものとします。

表 3-6 昨年度調査結果との比較

単位 (SS : mg/L、濁度 : 度)

項目 地点	S S		濁 度	
	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 6 年度
No.5	75 (13~150)	44 (8.6~76)	109 (19~210)	107 (64~200)
No.6	4.1 (1.9~5.7)	3.5 (<1.0~4.2)	4.7 (2.7~5.9)	2.5 (1.3~3.4)
田中川 1(下流側)	15 (4.6~32)	33 (5.9~66)	16 (3.5~45)	36 (4.2~68)
田中川 2(上流側)	7.4 (2.1~13)	18 (3.2~52)	6.2 (1.7~13)	20 (2.8~64)

注：数値は「平均値(最小値～最大値)」

3-5-2 供用後の水質

供用後の水質調査結果は、表 3-7 に示したとおりです。

排水流入後の田中川 1（下流側）では、pH が 7.5～8.0、BOD が 1.3～3.4mg/L、COD が 3.8～7.3mg/L、SS が 2.4～33mg/L、T-N が 1.1～2.2mg/L、T-P が 0.093～0.54mg/L の範囲でした。

排水流入前の田中川 2（上流側）では、pH が 7.4～7.8、BOD が<0.5～0.8mg/L、COD が 2.9～4.6mg/L、SS が 1.8～10mg/L、T-N が 0.32～0.54mg/L、T-P が 0.035～0.12mg/L の範囲でした。

今回の値を表 3-8 に示す評価書の供用時(田中川下流)の水質予測結果と各季と比較すると、全て予測結果を下回る値でした。

なお、評価書においては田中川での農業利水への影響を考慮し、保全対策として施設からの排水の放流先の変更を行っています。

採水状況等の調査風景は、資料編の写真 2-1-25～32 に示したとおりです。

表 3-7 水質調査結果(供用後の排水)

(単位：pH：なし、大腸菌数：CFU/100mL、流量：m³/分、その他：mg/L)

調査日 地点 項目	R7. 8. 14		R7. 10. 23		R7. 12. 19		R8. 3. 24	
	田中川 1 (下流)	田中川 2 (上流)	田中川 1 (下流)	田中川 2 (上流)	田中川 1 (下流)	田中川 2 (上流)	田中川 1 (下流)	田中川 2 (上流)
水素イオン濃度 (pH)	7.7	7.7	8.0	7.5	7.7	7.4	7.5	7.8
生物化学的酸素 要求量(BOD)	2.9	0.8	1.3	<0.5	1.3	<0.5	3.4	0.8
化学的酸素要求 量(COD)	7.0	4.6	4.2	4.0	3.8	2.9	7.3	3.8
浮遊物質(SS)	19	10	2.4	3.5	4.9	1.8	33	2.1
n-ヘキサン 抽出物質	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
全窒素 (T-N)	1.1	0.37	1.4	0.54	1.2	0.32	2.2	0.33
全リン (T-P)	0.23	0.12	0.11	0.063	0.093	0.035	0.54	0.059
溶存酸素 (DO)	6.5	7.9	13	9.6	13	12	7.9	12
大腸菌数	460	170	460	70	220	45	560	75
流量	14	1.1	4.6	1.6	1.6	1.1	20	1.4

表 3-8 田中川（下流）における水質の予測結果(供用時)

項 目	単位	春 季	夏 季	秋 季	冬 季
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	6.0	4.3	2.9	3.2
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	11	11	4.3	7.2
全窒素 (T-N)	mg/L	3.0	2.9	2.0	4.1

注：予測は事業区域からの排水負荷が最大と予想される平成 17 年度について行っている

4 特筆すべき動物

4-1 オオタカ、ハイタカ、チョウゲンボウ

4-1-1 調査概要

評価書の現況調査（以下「現況調査」という。）で確認したオオタカ、ハイタカ、チョウゲンボウについて、事業実施区域及びその周辺の利用状況を把握するため調査を実施しました。

4-1-2 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は、表 4-1-1 に示したとおりです。

表 4-1-1 調査年月日及び調査内容

調査年月日	調査内容
令和 8 年 2 月 16 日	定点観察調査(8:00～16:00)

4-1-3 調査場所

調査定点は図 4-1-1 に示したとおり、事業実施区域のうち、造成工事中の西側区域を中心に 4 地点設定しました。

4-1-4 調査方法

各調査地点において事業実施区域及びその周辺における対象種の出現状況（飛翔等の行動）を記録しました。

なお、調査には 8 倍程度の双眼鏡、25～30 倍程度の望遠鏡を用いて実施し、各調査員間は無線機を用い、連絡をとりながら対象種の行動を詳細に把握しました。



図 4-1-1 オオタ力等調査地点

4-1-5 調査結果

本調査の結果、調査対象 3 種(オオタカ、ハイタカ、チョウゲンボウ)の全ての種が確認されました。

確認状況は表 4-1-2(1)～(3)及び図 4-1-2(1)～(3)に示したとおり、飛翔する様子が確認されました。しかし、繁殖を示唆する行動(巣材運び等)は確認できませんでした。

事後調査開始時からの確認状況は表 4-1-3 に示したとおり、年ごとに確認の有無があるものの、当該地域はこれらの種の餌場の一部等として利用されてきたものと考えられます。令和 8 年 3 月現在、Ⅱ期・Ⅲ期工事区域内での大きな伐採は概ね完了していますが、Ⅲ期工事区域では一部伐採を行いました。また、開通した国道 23 号中勢バイパスも供用から 8 年目を迎えています。調査対象種は、年度によって確認状況にばらつきがありますが、繁殖地等の主要な生息環境は事業実施区域の北側や南側、西側の森林地域に移っているものと考えられ、今後も事業実施区域周辺の耕作地等は餌場としての利用が継続されることが考えられます。

調査状況は、資料編の写真 2-2-1～4 に示したとおりです。

表 4-1-2 (1) オオタカ確認状況

No.	種名	確認時間	雌雄・成幼	確認状況
1	オオタカ	8:08 ～ 8:09	不明・成	林縁部の杉頂部に南向きにとまっていた。その後、北寄りに搏翔し、すぐ竹林陰に入り消失した。
2	オオタカ	14:49 ～ 14:56	雄・成	尾根付近上空でカラスと争った後、カラスと離れ西寄りに滑翔後、進路を変え北東方向へ滑翔した。尾根上樹林に重なり一時視界から外れるがすぐに出現し、事業実施区域内の尾根付近上空で搏翔と旋回・帆翔を交えて不規則に飛翔し、やや上昇した後、東へ北東方向へ滑翔した。住宅地上空で大きく進路を変えいったん西寄りに進むが再び反転し、北東方向へ滑翔・降下した後、手前建物陰に入り消失した。

注：表中のNo.は図 4-1-2 (1) 中のNo.に対応。

表 4-1-2 (2) ハイタカ確認状況

No.	種名	確認時間	雌雄・成幼	確認状況
3	ハイタカ	9:23 ～ 9:24	雌・成	尾根付近の上空で旋回と滑翔を繰り返し、途中低空飛翔を交えながら北寄りに移動した。探餌をしているものとみられる。その後、北東方向へ滑翔し、田中川を越えたところで再び旋回・帆翔に転じるが、後背の太陽に重なり消失した。
4	ハイタカ	11:36 ～ 11:36	不明・不明	搏翔と滑翔を繰り返して谷上空を西寄りに飛翔した。右岸側樹林内に入り消失した。
5	ハイタカ	15:05 ～ 15:06	雄・成	耕作地上空で搏翔と滑翔を交えて北西方向へ飛翔後、搏翔を交えた旋回・帆翔でやや上昇した。その後、北西方向へ滑翔し、手前樹林陰に入り消失した。
6	ハイタカ	15:15 ～ 15:15	雌・成	耕作地上空で搏翔と滑翔を交えて北西方向へ飛翔後、搏翔を交えた旋回・帆翔でやや上昇した。その後、北西方向へ滑翔し、手前樹林陰に入り消失した。

注：表中のNo.は図 4-1-2 (2) 中のNo.に対応。

表 4-1-2 (3) チョウゲンボウ確認状況

No.	種名	確認時間	雌雄・成幼	確認状況
7	チョウゲンボウ	10:49～10:50	不明・不明	尾根付近の上空で搏翔を交えた旋回を繰り返して上昇した。その後、北東方向へ滑翔して消失した。

注：表中のNo.は図 4-1-2 (3) 中のNo.に対応。

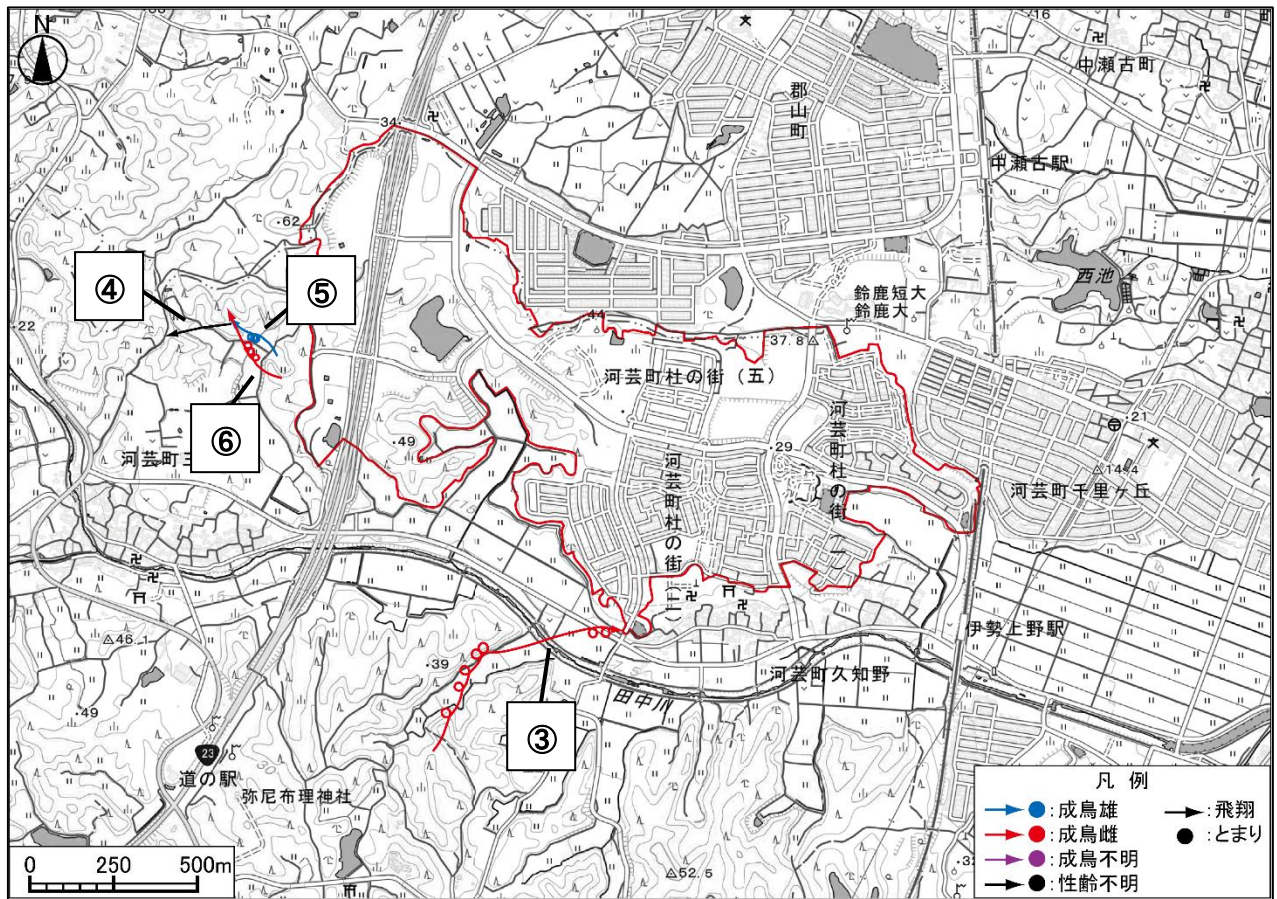
表 4-1-3 オオタカ、ハイタカ、チョウゲンボウの過去の確認状況

種 名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
オオタカ	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○
ハイタカ	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○
チョウゲンボウ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×

種 名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
オオタカ	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×
ハイタカ	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
チョウゲンボウ	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×

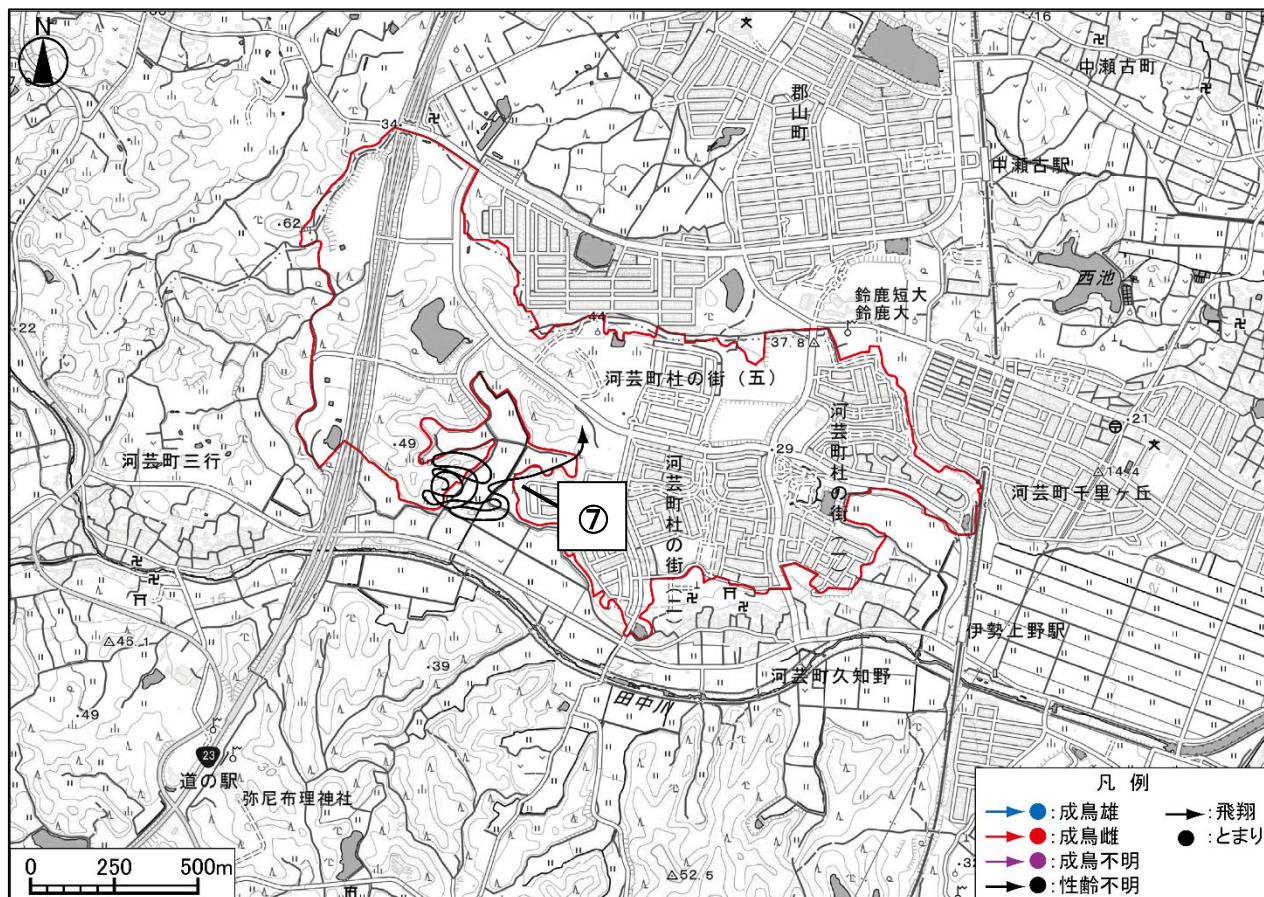
種 名	R3	R4	R5	R6	R7
オオタカ	○	○	×	×	○
ハイタカ	○	○	×	×	○
チョウゲンボウ	×	×	○	○	○

注：「○」は生息を確認、「×」は確認できなかったことを示す。



注：図中のNo.は表 4-1-2 (2) 中のNo.に対応。

図 4-1-2 (2) ハイタカ確認位置



注：図中のNo.は表 4-1-2 (3) 中のNo.に対応。

図 4-1-2 (3) チョウゲンボウ確認位置

4-2 コアジサシ、オオヨシキリ、チュウサギ、サンコウチョウ

4-2-1 調査概要

現況調査で確認したコアジサシ、オオヨシキリ、チュウサギ、サンコウチョウについて調査を実施しました。

4-2-2 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は、表 4-2-1 に示したとおりです。

表 4-2-1 調査年月日及び調査内容

対象種	調査年月日	調査内容
コアジサシ オオヨシキリ チュウサギ サンコウチョウ	令和 7 年 6 月 18 日	任意観察調査

4-2-3 調査ルート

主な調査ルートは、図 4-2-1 に示したとおりです。

4-2-4 調査方法

調査は事業実施区域及びその周辺を任意に踏査し、対象種の確認に努めました。

なお、調査には 8 倍程度の双眼鏡等を用いて実施しました。

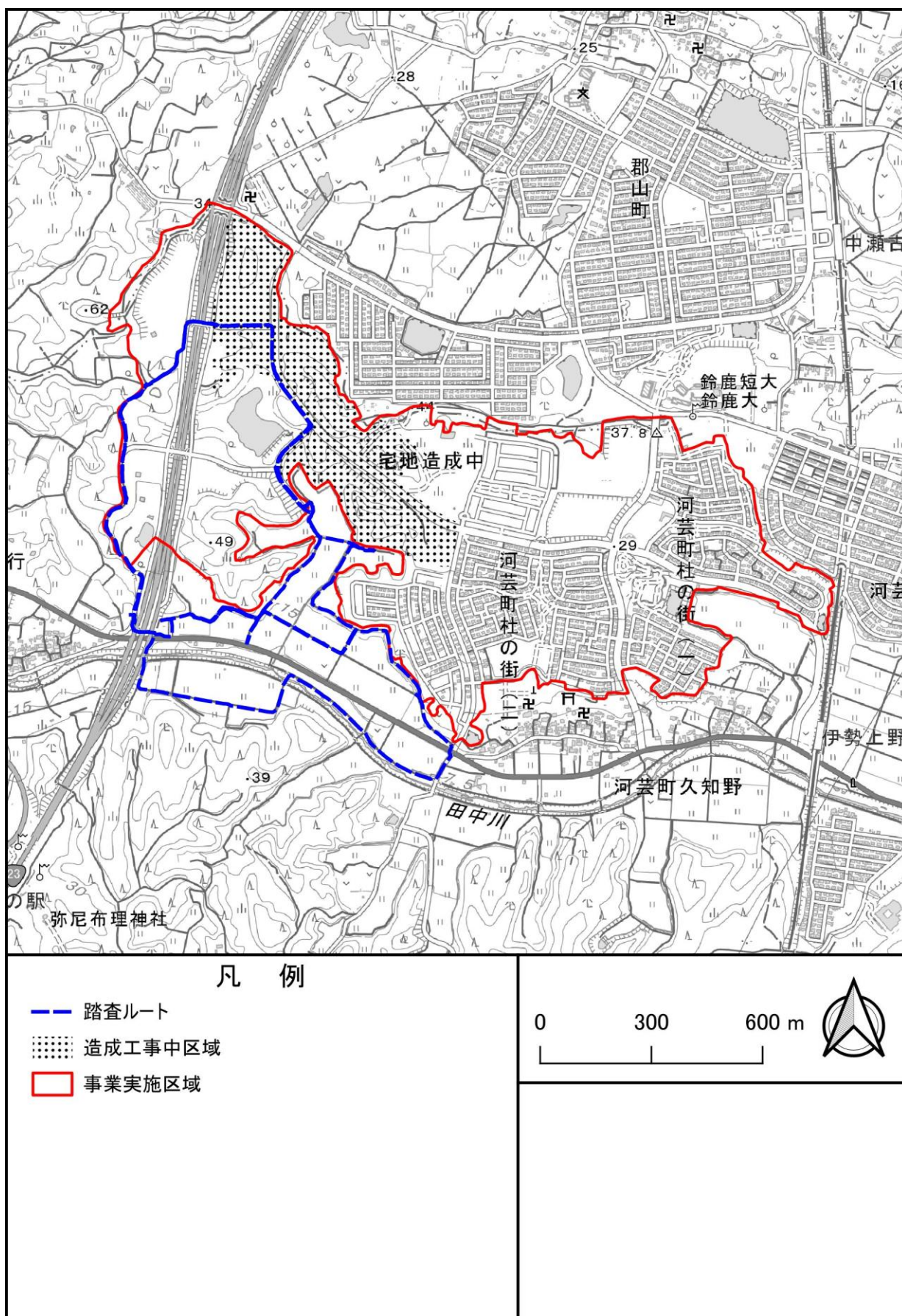


図 4-2-1 コアジサシ、オオヨシキリ、チュウサギ、サンコウチョウ調査ルート

4-2-5 調査結果

今回の調査結果は、図 4-2-2 に示したとおりです。オオヨシキリは、事業実施区域北西部側で 1 個体を確認しました。チュウサギは事業実施区域南西側で 4 個体、事業実施区域北西側で 1 個体の合計 5 個体を確認しました。サンコウチョウは事業実施区域西部で 1 個体を確認しました。なお、これまでの事後調査における調査対象種の確認状況は表 4-2-2 に示したとおり、オオヨシキリは令和 2 年度以来 5 年振りの確認、チュウサギは令和 6 年度から 2 年連続の確認、サンコウチョウは令和 4 年度以来 3 年振りの確認となりました。

確認出来なかったコアジサシについては、主な採餌環境が海岸及び河口付近であることから事業実施区域内を利用する可能性は低いものの、今後も河口から餌を求めて田中川を上がってくることが考えられるため、今後も田中川を中心に調査を継続して実施します。

調査の状況等は、資料編の写真 2-3-1 に示したとおりです。

表 4-2-2 コアジサシ、オオヨシキリ、チュウサギ、サンコウチョウの過去の確認状況

種 名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
コアジサシ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
オオヨシキリ	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○
チュウサギ	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○
サンコウチョウ	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×

種 名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
コアジサシ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
オオヨシキリ	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×
チュウサギ	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
サンコウチョウ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

種 名	R1※	R2	R3	R4	R5	R6	R7
コアジサシ	—	×	×	×	×	×	×
オオヨシキリ	—	○	×	×	×	×	○
チュウサギ	—	○	○	×	×	○	○
サンコウチョウ	—	×	×	○	×	×	○

注：「○」は確認、「×」は未確認を示す。

※：令和元年度は、天候等の諸条件により調査適期における日程調整がつかず、実施できなかった。

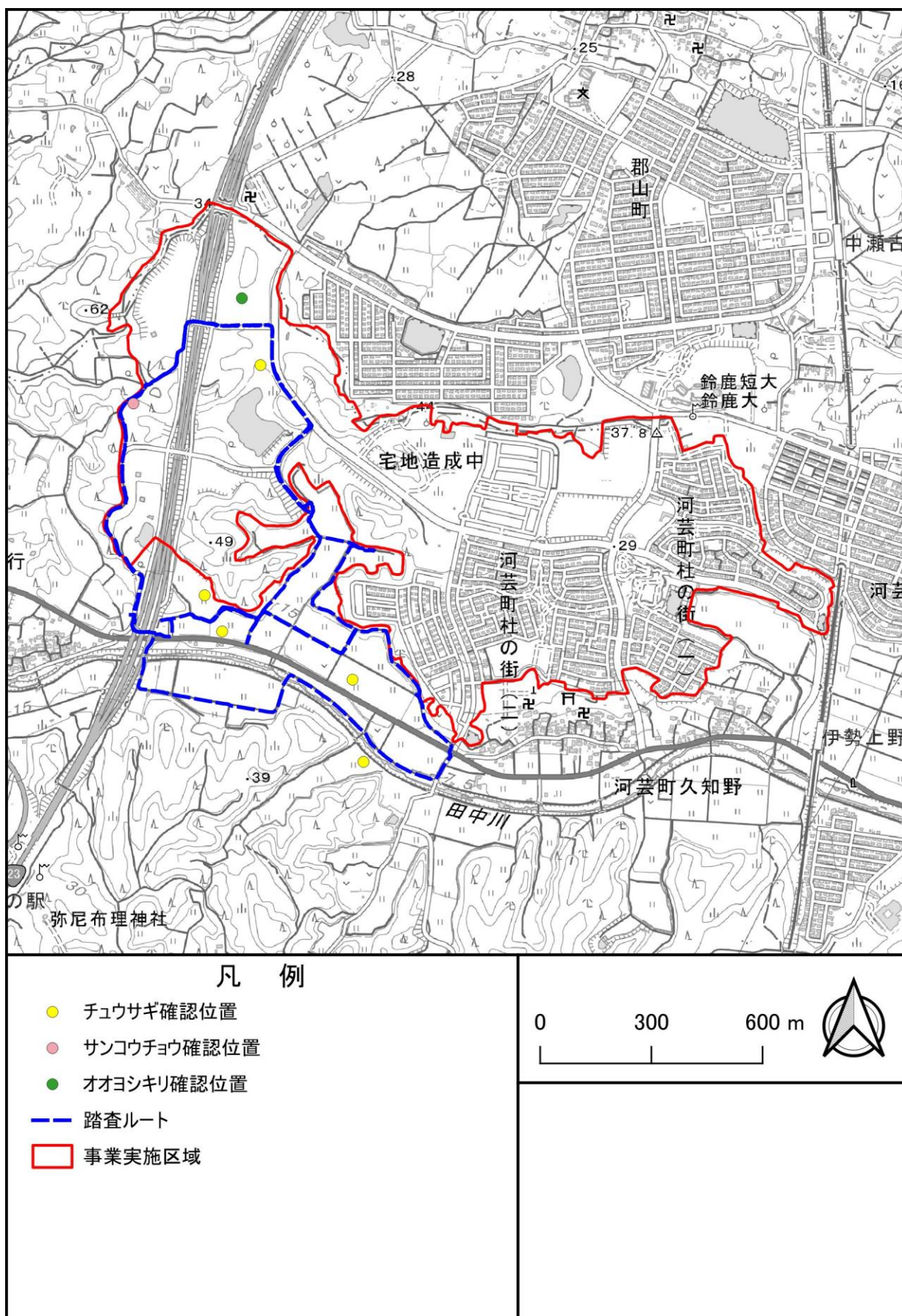


図 4-2-2 オオヨシキリ、チュウサギ、サンコウチョウ確認位置

4-3 カスミサンショウウオ¹

4-3-1 調査概要

カスミサンショウウオの産卵期である 2～4 月に事業区域及びその周辺を踏査し、卵嚢を主とする確認調査を実施しました。また、移殖地の環境整備を本種の産卵期の前に実施しました。環境整備は産卵に適する水深(概ね 10～20cm)が保てるように水路等の泥上げ、水溜まりを創出し、この中に着卵基質(本種が卵嚢を付着させる物)として利用するよう現地で採取したネザサや枯小枝を刺しました。

4-3-2 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は、表 4-3-1 に示したとおりです。

表 4-3-1 調査年月日及び調査内容

調査年月日	調査内容
令和 8 年 1 月 16 日	環境整備 (水路整備、除草)
令和 8 年 3 月 2 日 令和 8 年 3 月 11 日 令和 8 年 4 月 3 日	卵嚢、成体確認調査

4-3-3 調査場所

調査は造成工事中の区域であるⅢ期工事区域及び周辺としました。調査場所は、図 4-3-1 に示したとおりです。

4-3-4 調査方法

昨年度までの調査で卵嚢等を確認した地域を中心に踏査し、卵嚢や成体の確認を行いました。卵嚢等を確認した場合は、確認地点の位置、卵嚢数、卵数、水温、pH、溶存酸素(DO)、産卵地の状況等について記録しました。

なお、個々の卵嚢を識別するために卵嚢を直径約 7 cm、高さ約 9cm の透明プラスチック製の円柱型容器(ねじ込み式のふた付き、側面、底面に 10 数個の孔)にナンバリングをしたものを用い、卵数、発生ステージを計測した卵塊をこの容器に入れ、ふたを閉めた後、卵塊のあった場所に戻しました。

¹ カスミサンショウウオは 2019 年に新種ヤマトサンショウウオとして記載された種であるが(Matsui, M. , Okawa, H. , Nishikawa, K. , Aoki, G. , Eto, K. , Yoshikawa, N. , Tanabe, S. , Misawa, Y. , Tominaga, A. (2019) Systematics of the widely distributed Japanese clouded salamander, *Hynobius nebulosus* (Amphibia: Caudata: Hynobiidae), and its closest relatives. *Current Herpetology*, 38: 32-90.), これまでのデータとの連続性を考えて、従前より使用しているカスミサンショウウオの名称をそのまま踏襲した。

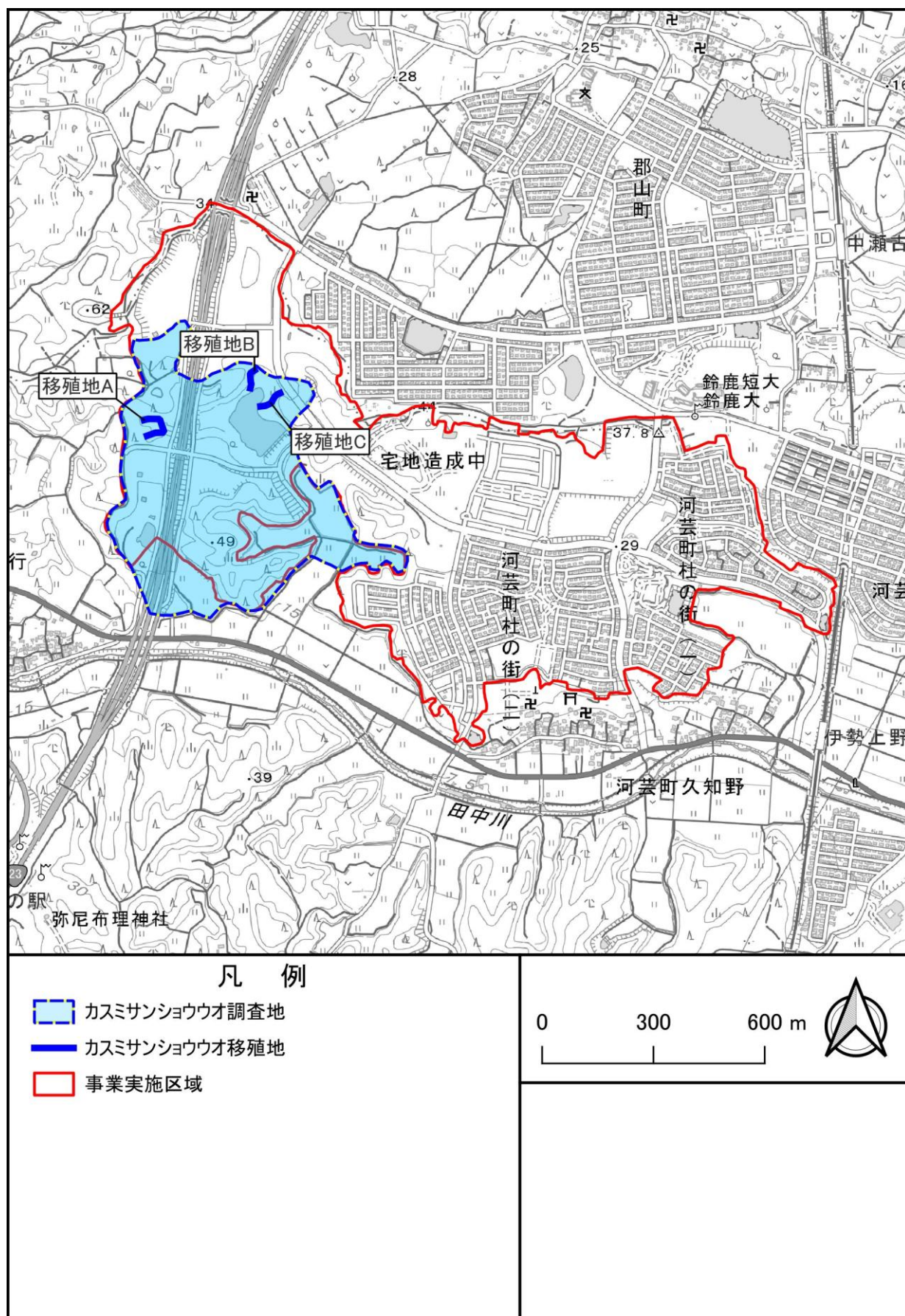


図 4-3-1 カスミサンショウウオ調査場所

4-3-5 調査結果

卵嚢・成体の調査結果及び確認地点の水質等は表 4-3-2(1)～(2)に、確認地点は図 4-3-2 に、確認した卵の発生段階の推移は表 4-3-3 に示したとおりです。なお、卵の発生段階は、トウホクサンショウウオ発生段階図（資料参照）を準用し、現地で判定したものを記載しました。

今回の調査では、2 地点（地点 A,B）において計 30.5 対の卵嚢を確認し、地点 C で卵嚢は確認できませんでした。卵嚢 1 対あたりの平均卵数は 87.4 個でした。卵嚢確認地点は、斜面下部の水路や産卵環境整備時に掘削した浅い池状の水溜まりで、水質は調査時の水深が 7.0 ～15.0cm、水温が 6.5～17.4℃、pH が 6.7～7.7、D0 が 0.7～12mg/L でした。確認地点の底質には軟泥が堆積しており、落葉枝が多く積もっていました。成体については確認できませんでした。

また、最終調査時（4 月 3 日）に、地点 A において、卵嚢が陸上へ放置されている状況が確認され、周辺状況からイノシシによるものと考えられました。その際、A-01 のラベリングをした容器を消失しました。なお、調査終了時には、すべての卵嚢をこのケースから取り出し、その場に放ちました。

第 1 回調査時（3 月 2 日）、地点 A では 2 対、地点 B では 4 対の卵嚢を確認し、最終調査時（4 月 3 日）には発生段階 C～c-D まで順調に進行していました。第 2 回調査時（3 月 11 日）、地点 A では 8 対、地点 B では 6 対の卵嚢を確認し、最終調査時（4 月 3 日）には発生段階 C～D まで順調に進行していました。また、最終調査時（4 月 3 日）、地点 A では 10 対、地点 B では 0.5 対の卵嚢を確認しました。

参考として図 4-3-3 には、今年度及び過去 5 年間の津地方气象台での 1 月上旬から 4 月上旬までの各旬の日平均気温及び降水量を平年値とともに示しました。この図のとおり、本年の気温は平年値と比べ 1 月下旬で低く、2 月下旬では高く推移しており、3 月以降に産卵が集中したものと考えられます。また、降水量は平年値を下回って推移していましたが、3 月下旬にまとまった降水があったため、卵嚢の発生が順調に進んだものと見られます。

これまでの事後調査におけるカスミサンショウウオの確認状況は表 4-3-4 に示したとおり、調査開始以来、カスミサンショウウオの産卵は毎年確認されています。

調査の状況及び卵嚢確認状況等は、写真 2-4-1～21 に示したとおりです。

表 4-3-2 (1) カスミサンショウウオ調査結果 (地点 No. A)

調査年月日	地点	卵囊No.	成体数 [頭]	卵囊数 [対]	合計 卵数 [個]	卵囊1 卵数 [個]	卵囊1 死卵数 [個]	卵囊2 卵数 [個]	卵囊2 死卵数 [個]	着卵基質	水深 [cm]	水温 [°C]	底質状況	pH	DO [mg/L]	発生段階
3月2日	A	A-01	0	1	120	62	0	58	0	予め刺したネザサ φ 10mm	10.0	13.5	泥質	7.7	12	B
3月2日	A	A-02	0	1	67	30	0	37	0	予め刺したネザサ φ 6mm	10.0	13.5	泥質	7.7	12	A
3月11日	A	A-03	0	1	84	38	0	46	0	なし	7.0	7.0	泥質	7.7	10	A
3月11日	A	A-04	0	1	79	44	0	35	0	枯れ杉葉 φ 4mm	9.0	7.0	泥質	7.7	10	A
3月11日	A	A-05	0	1	115	62	0	53	0	生根(ネザサ) φ 3mm	9.0	7.0	泥質	7.7	10	A
3月11日	A	A-06	0	1	76	34	0	42	0	生根(ネザサ) φ 3mm	9.0	7.0	泥質	7.7	10	A
3月11日	A	A-07	0	1	105	55	0	50	0	生根(ネザサ) φ 3mm	9.0	7.0	泥質	7.7	10	A
3月11日	A	A-08	0	1	117	63	0	54	0	生根(ネザサ) φ 2mm	9.0	7.0	泥質	7.7	10	A
3月11日	A	A-09	0	1	118	53	0	65	0	枯れ小枝 φ 4mm	9.0	6.5	泥質	7.7	10	A
3月11日	A	A-10	0	1	69	33	0	36	0	枯れ小枝 φ 4mm	9.0	6.5	泥質	7.7	10	A
4月3日	A	A-11	0	1	72	33	0	39	0	なし	13.0	17.4	泥質	7.0	7.5	C
4月3日	A	A-12	0	1	66	32	0	34	0	枯れ小枝 φ 1.5mm	13.0	17.4	泥質	7.0	7.5	B
4月3日	A	A-13	0	1	75	38	0	37	0	枯れ小枝 φ 1.8mm	13.0	17.4	泥質	7.0	7.5	C
4月3日	A	A-14	0	1	47	23	0	24	0	落ち葉	13.0	17.4	泥質	7.0	7.5	B
4月3日	A	A-15	0	1	76	34	0	42	0	予め刺したネザサ φ 5.5mm	13.0	17.4	泥質	7.0	7.5	B
4月3日	A	A-16	0	1	70	32	0	38	0	なし	13.0	17.4	泥質	7.0	7.5	D
4月3日	A	A-17	0	1	80	41	0	39	0	落ち葉	13.0	17.4	泥質	7.0	7.5	D
4月3日	A	A-18	0	1	63	34	0	29	0	杉落ち葉	13.0	17.4	泥質	7.0	7.5	B
4月3日	A	A-19	0	1	87	46	0	41	0	なし	13.0	17.4	泥質	7.0	7.5	A
4月3日	A	A-20	0	1	57	32	0	25	0	枯れ小枝 φ 2.8mm	13.0	17.4	泥質	7.0	7.5	A

表 4-3-2 (2) カスミサンショウウオ調査結果 (地点 No. B)

調査年月日	地点	卵囊No.	成体数 [頭]	卵囊数 [対]	合計 卵数 [個]	卵囊1 卵数 [個]	卵囊1 死卵数 [個]	卵囊2 卵数 [個]	卵囊2 死卵数 [個]	着卵基質	水深 [cm]	水温 [℃]	底質状況	pH	D0 [mg/L]	発生段階
3月2日	B	B-01	0	1	58	32	0	26	0	予め刺したネザサ φ 8mm	8.0	14.0	泥質	6.9	5.4	A
3月2日	B	B-02	0	1	78	40	0	38	0	予め刺したネザサ φ 7mm	8.0	14.0	泥質	6.9	5.4	A
3月2日	B	B-03	0	1	104	46	0	58	0	予め刺したネザサ φ 5mm	8.0	14.0	泥質	6.9	5.4	A
3月2日	B	B-04	0	1	115	54	0	61	0	予め刺したネザサ φ 9mm	8.0	15.4	泥質	6.9	3.7	A
3月11日	B	B-05	0	1	95	38	38	57	57	予め刺したネザサ φ 4mm	9.0	8.6	泥質	7.7	0.7	A
3月11日	B	B-06	0	1	115	54	0	61	0	予め刺したネザサ φ 7mm	9.0	8.6	泥質	7.7	0.7	A
3月11日	B	B-07	0	1	87	46	0	41	0	予め刺したネザサ φ 5mm	9.0	8.6	泥質	7.7	0.7	A
3月11日	B	B-08	0	1	138	62	42	76	49	予め刺したネザサ φ 6mm	9.0	8.6	泥質	7.7	0.7	A
3月11日	B	B-09	0	1	66	35	0	31	0	B-08と同じ枝	9.0	8.6	泥質	7.7	0.7	A
3月11日	B	B-10	0	1	124	66	0	58	0	B-08と同じ枝	9.0	8.6	泥質	7.7	0.7	A
4月3日	B	B-11	0	0.5	42	42	0	0	0	なし	15.0	16.9	泥質	6.7	6.2	B

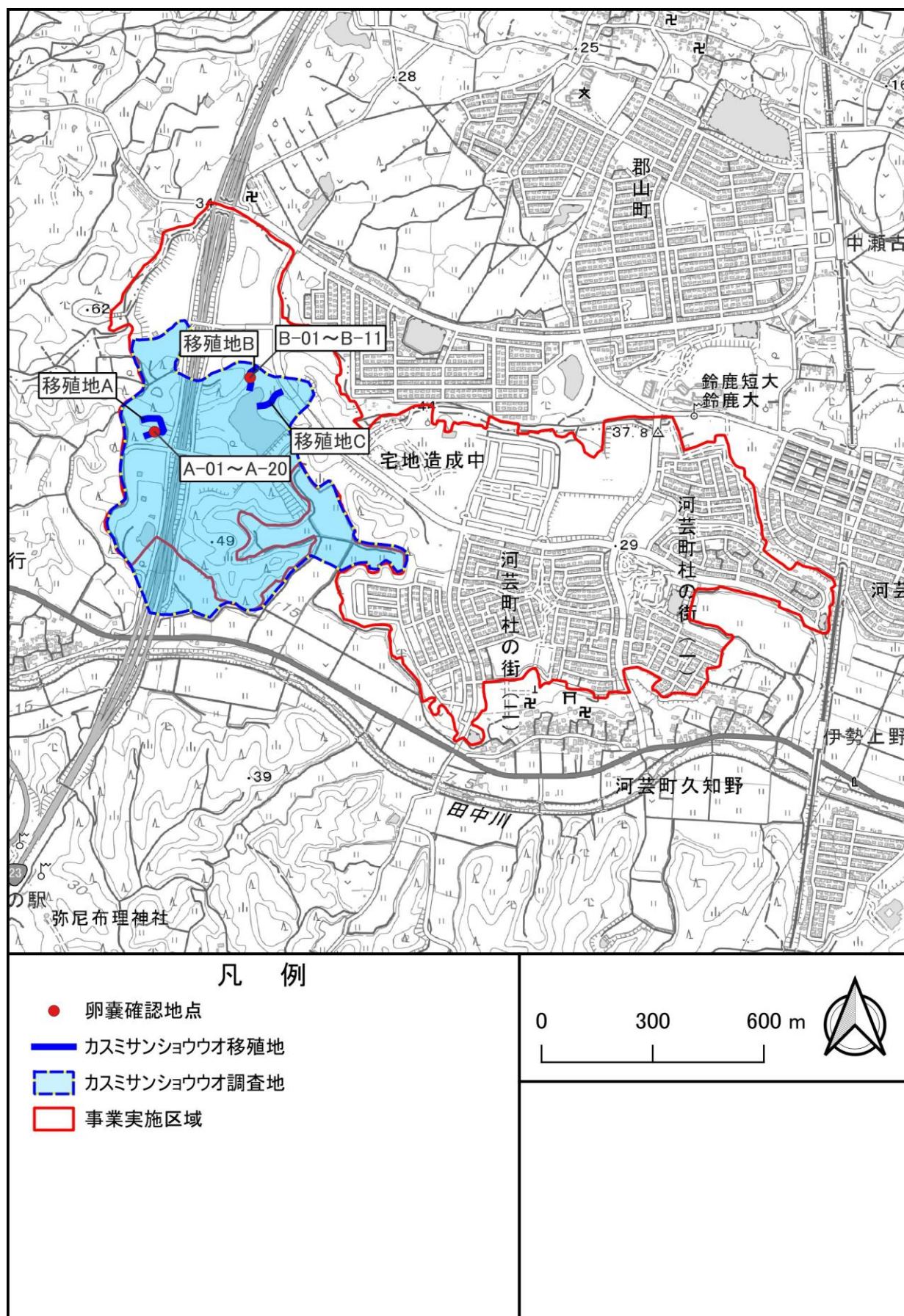


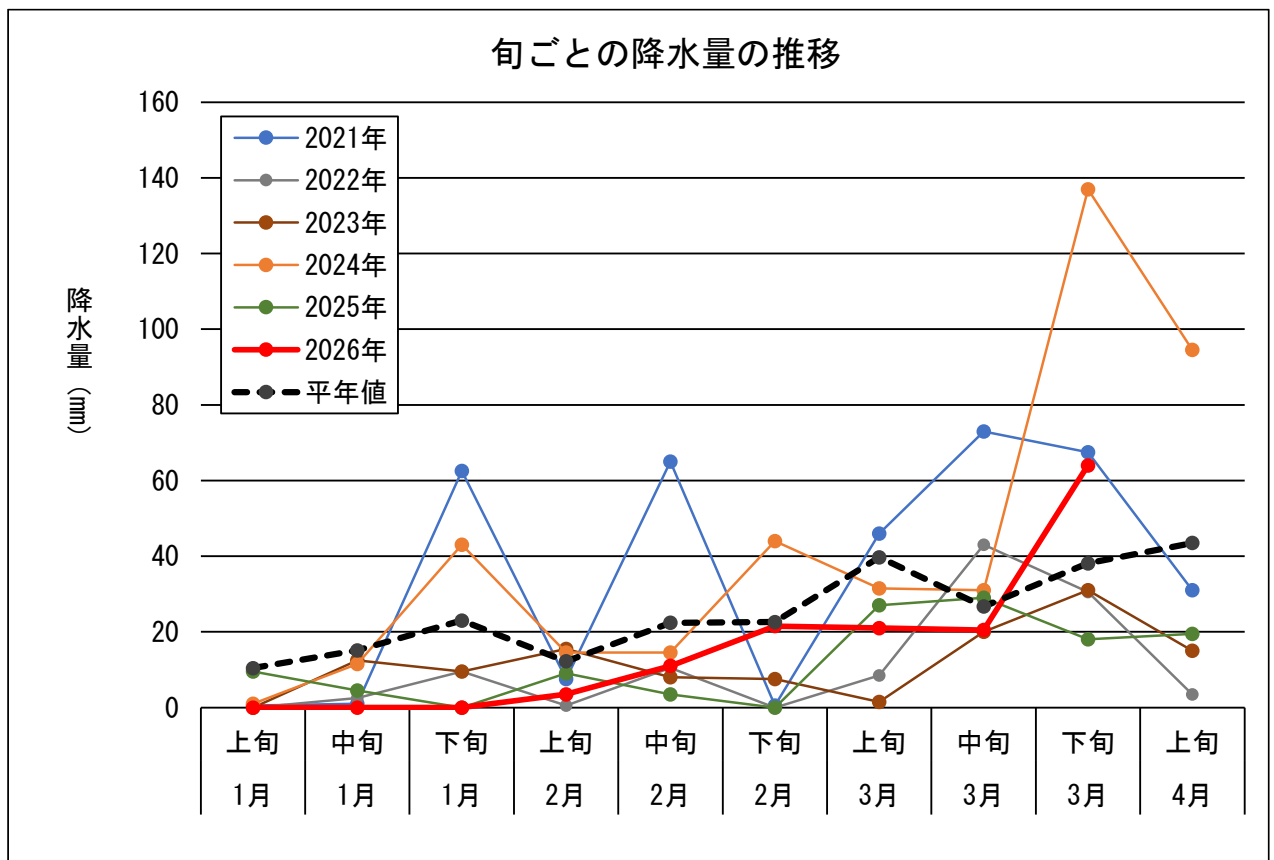
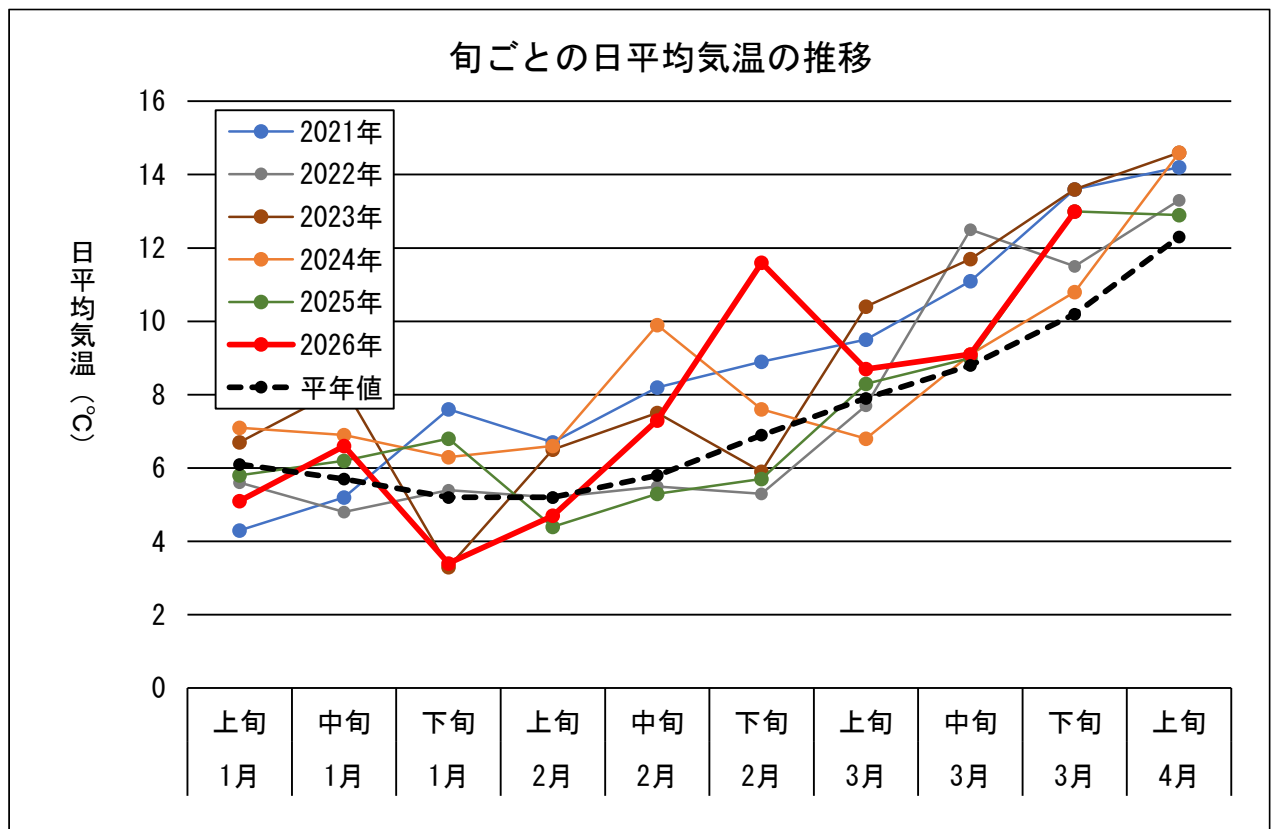
図 4-3-2 カスミサンショウウオ卵嚢確認地点

表 4-3-3 確認した卵囊の発生段階の推移

地点No.	卵囊No.	調査年月日		
		令和8年3月2日	令和8年3月11日	令和8年4月3日
A	A-01	a-B	C	消失
	A-02	A	B	c-D
	A-03	—	A	C-d
	A-04	—	A	C
	A-05	—	A	D
	A-06	—	A	C-d
	A-07	—	A	C
	A-08	—	A	D
	A-09	—	A	C-d
	A-10	—	A	C
	A-11	—	—	b-C
	A-12	—	—	B
	A-13	—	—	C
	A-14	—	—	B
	A-15	—	—	B
	A-16	—	—	D
	A-17	—	—	D
	A-18	—	—	B
	A-19	—	—	A
	A-20	—	—	A
B	B-01	A	B	c-D
	B-02	A	B	C-d
	B-03	A	A	B-c
	B-04	A	B	c-D
	B-05	—	A	A
	B-06	—	A	C
	B-07	—	A	D
	B-08	—	A	C
	B-09	—	A	ハッチング
	B-10	—	A	D
	B-11	—		B
C		卵囊確認なし		

注：発生段階の大文字は、卵囊内のより多くを占める発生段階を表し、小文字は卵囊内の少数を占める発生段階を表す。

注：表中の発生段階については資料編の「トウホクサンショウウオ発生段階図」参照



出典：国土交通省気象庁ホームページより作成

図 4-3-3 各旬の日平均気温・降水量の推移(津地方気象台観測値)

表 4-3-4 カスミサンショウウオの過去の確認状況

種名	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
カスミサンショウウオ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

種名	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
カスミサンショウウオ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

種名	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
カスミサンショウウオ	○	○	○	○	○	○	○	○

注：「○」は確認、「×」は未確認を示す。

4-4 ダルマガエル

4-4-1 調査概要

現況調査時に確認したダルマガエルについて、生息確認調査を実施しました。

4-4-2 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は、表 4-4-1 に示したとおりです。

表 4-4-1 調査年月日及び調査内容

調査年月日	調査内容
令和 7 年 6 月 17 日	成体確認調査

4-4-3 調査場所

調査場所は図 4-4-1 に示したとおり、現況調査に確認した東側の水田、水路や事業区域南側の水田等を中心に実施しました。

4-4-4 調査方法

成体の出現時期に目視、タモ網による捕獲、鳴き声による確認に努めました。

4-4-5 調査結果

事業実施区域の未改変区域及び区域外で生息の可能性が高い考えられる東側の水田や南側の水田等で調査を実施しましたが、本種の生息を確認することはできませんでした。

現況調査時の本種の確認は成体 1 個体であり、当地域における生息個体数は極めて少ないと考えられます。今後も調査を継続し、生息の確認に努めます。

なお、これまでの事後調査におけるダルマガエル確認状況を表 4-4-2 に示しました。

調査の状況等は、資料編の写真 2-5-1、2 に示したとおりです。

表 4-4-2 ダルマガエルの過去の確認状況

種 名	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
ダルマガエル	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

種 名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
ダルマガエル	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

種 名	R2	R3	R4	R5	R6	R7
ダルマガエル	×	×	×	×	×	×

注：「○」は確認、「×」は未確認を示す。

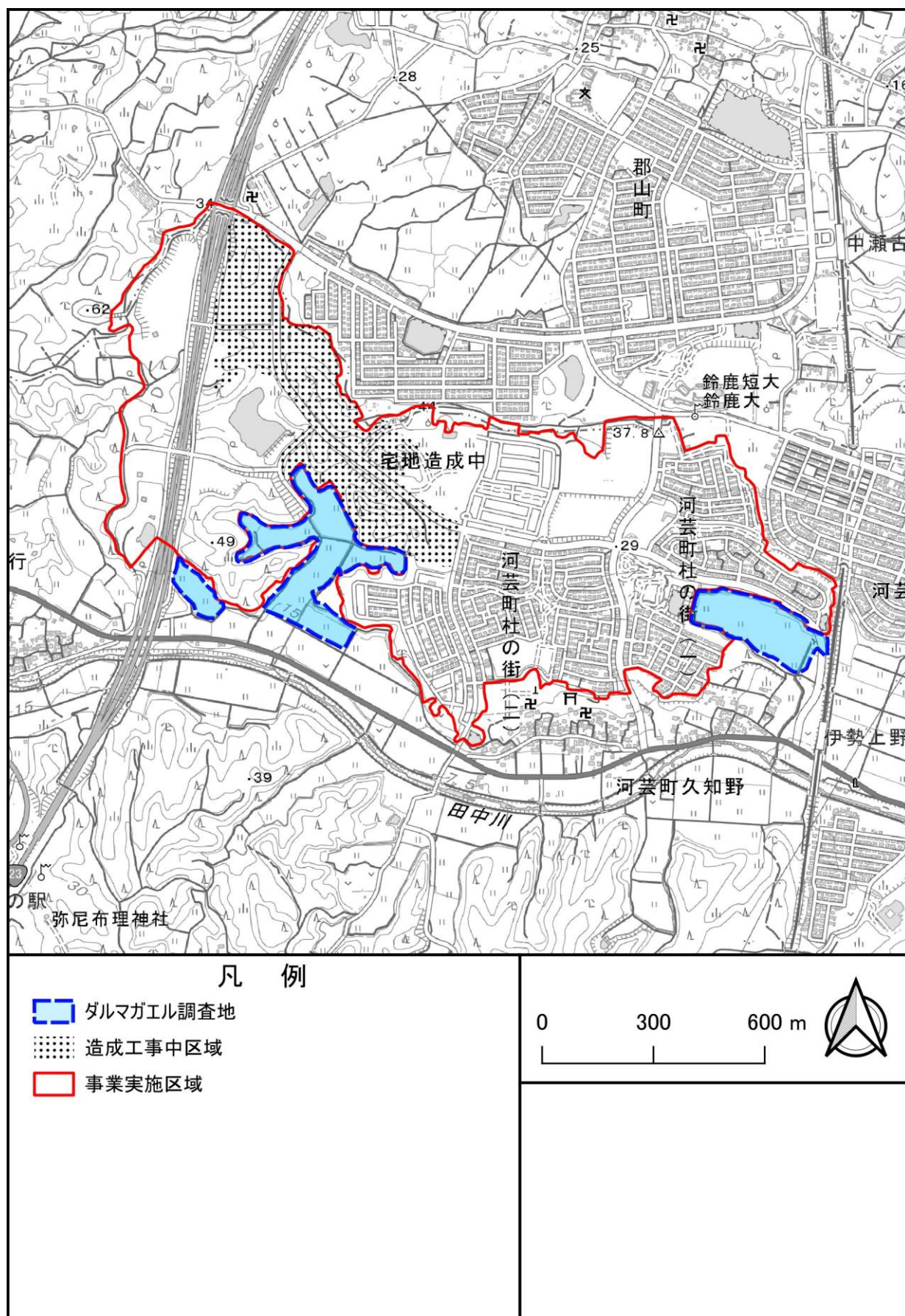


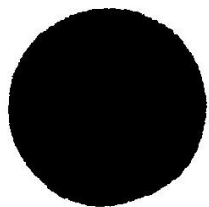
図 4-4-1 ダルマガエル調査地

< 資 料 編 >

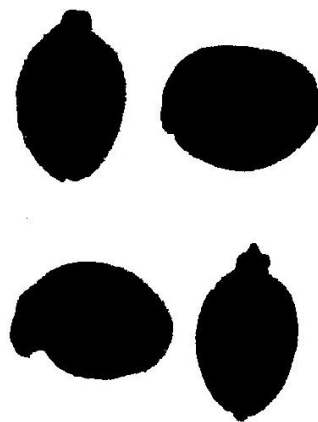
- 1 トウホクサンショウウオ発生段階図
 - 2 調査状況等写真
 - 2-1 水 質
 - 2-2 特筆すべき動物(オオタカ、ハイタカ、チョウゲンボウ)
 - 2-3 特筆すべき動物(コアジサシ、オオヨシキリ、チュウサギ、サンコウチョウ)
 - 2-4 特筆すべき動物(カスミサンショウウオ)
 - 2-5 特筆すべき動物 (ダルマガエル)
- 添付 水質調査結果 計量証明書(写し)

1 トウホクサンショウウオ発生段階図

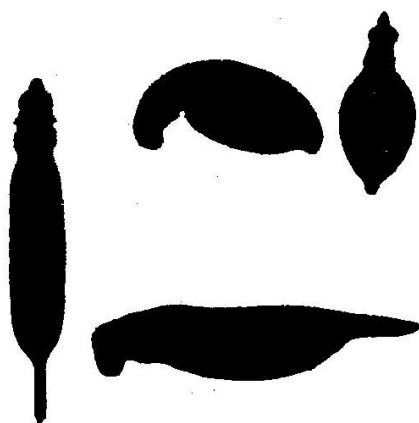
※「東北山椒魚の発生段階図 くろず文庫私版(1947)」を参考に6段階に区分した。



A (丸い)



B (突起がある)



C (細長い)



D (バランサーがある)



E (バランサーがない)



F (後足がある)

2 調査状況等写真
2-1 水 質



写真 2-1-1 濁水採水状況 (No.5) 令和 7 年 6 月 4 日



写真 2-1-2 濁水採水状況 (No.6) 令和 7 年 6 月 4 日



写真 2-1-3 濁水採水状況 (田中川 1 : 下流) 令和 7 年 6 月 4 日



写真 2-1-4 濁水採水状況(田中川 2 : 上流) 令和 7 年 6 月 4 日

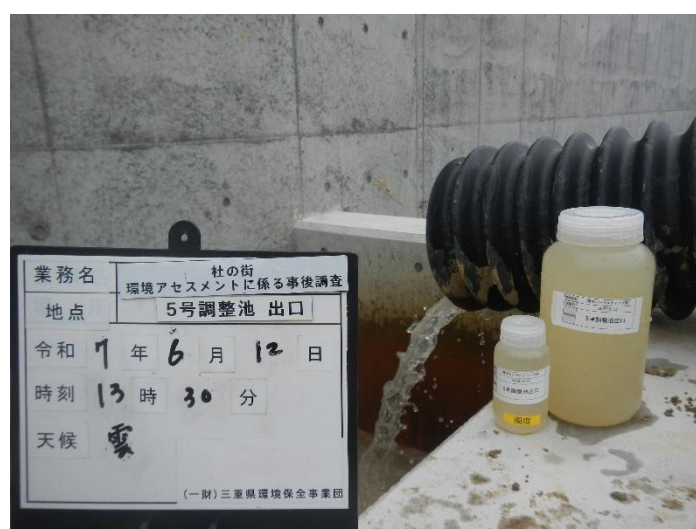


写真 2-1-5 濁水採水状況 (No.5) 令和 7 年 6 月 12 日



写真 2-1-6 濁水採水状況 (No.6) 令和 7 年 6 月 12 日

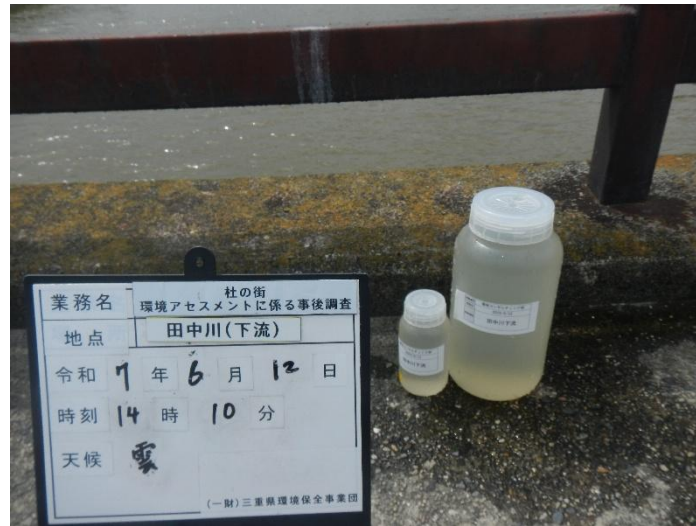


写真 2-1-7 濁水採水状況(田中川 1：下流) 令和 7 年 6 月 12 日



写真 2-1-8 濁水採水状況(田中川 2：上流) 令和 7 年 6 月 12 日



写真 2-1-9 濁水採水状況 (No.5) 令和 7 年 7 月 15 日

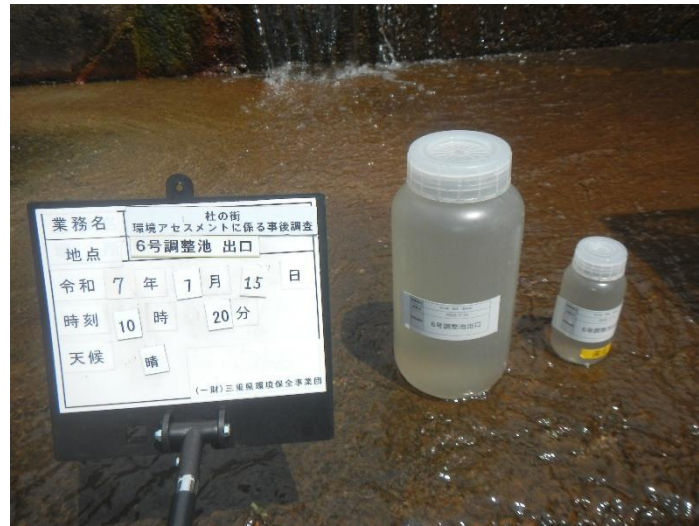


写真 2-1-10 濁水採水状況 (No.6) 令和 7 年 7 月 15 日



写真 2-1-11 濁水採水状況 (田中川 1 : 下流) 令和 7 年 7 月 15 日



写真 2-1-12 濁水採水状況 (田中川 2 : 上流) 令和 7 年 7 月 15 日

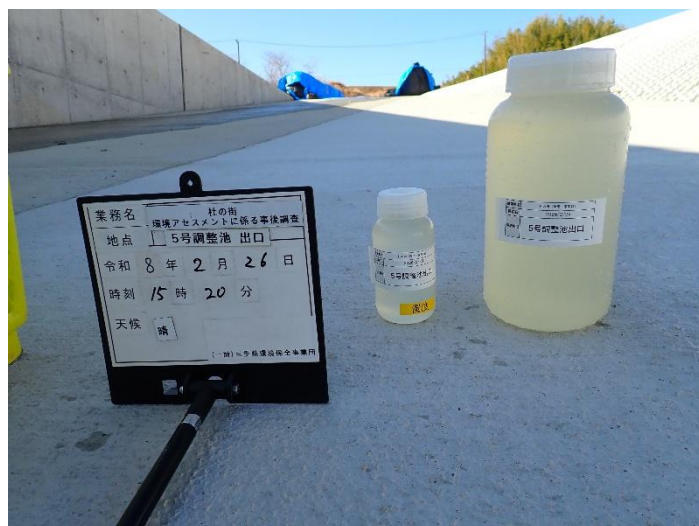


写真 2-1-13 濁水採水状況 (No.5) 令和 8 年 2 月 26 日



写真 2-1-14 濁水採水状況 (No.6) 令和 8 年 2 月 26 日



写真 2-1-15 濁水採水状況 (田中川 1 : 下流) 令和 8 年 2 月 26 日



写真 2-1-16 濁水採水状況(田中川 2 : 上流) 令和 8 年 2 月 26 日



写真 2-1-17 濁水採水状況(No.5) 令和 8 年 3 月 5 日



写真 2-1-18 濁水採水状況(No.6) 令和 8 年 3 月 5 日



写真 2-1-19 濁水採水状況(田中川1：下流) 令和8年3月5日



写真 2-1-20 濁水採水状況(田中川2：上流) 令和8年3月5日



写真 2-1-21 濁水採水状況(No.5) 令和8年3月27日



写真 2-1-22 濁水採水状況 (No.6) 令和 8 年 3 月 27 日

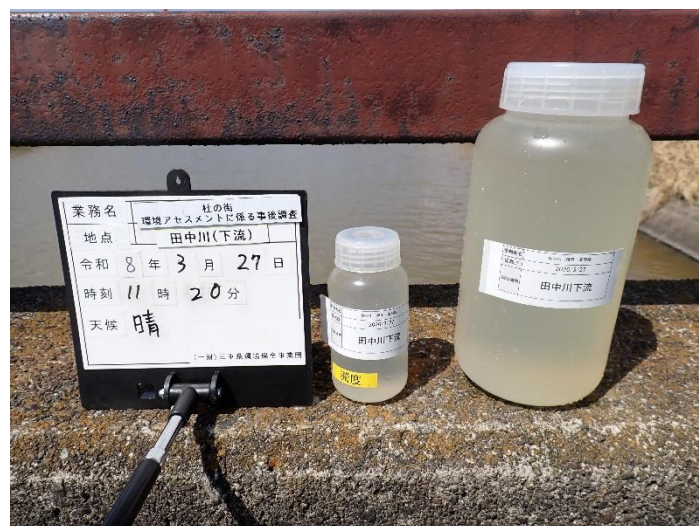


写真 2-1-23 濁水採水状況 (田中川 1 : 下流) 令和 8 年 3 月 27 日



写真 2-1-24 濁水採水状況 (田中川 2 : 上流) 令和 8 年 3 月 27 日



写真 2-1-25 供用後採水状況(田中川 1：下流) 令和 7 年 8 月 14 日



写真 2-1-26 供用後採水状況(田中川 2：上流) 令和 7 年 8 月 14 日



写真 2-1-27 供用後採水状況(田中川 1：下流) 令和 7 年 10 月 23 日



写真 2-1-28 供用後採水状況(田中川 2 : 上流) 令和 7 年 10 月 23 日



写真 2-1-29 供用後採水状況(田中川 1 : 下流) 令和 7 年 12 月 19 日



写真 2-1-30 供用後採水状況(田中川 2 : 上流) 令和 7 年 12 月 19 日



写真 2-1-31 供用後採水状況(田中川 1 : 下流) 令和 8 年 3 月 24 日



写真 2-1-32 供用後採水状況(田中川 2 : 上流) 令和 8 年 3 月 24 日

2-2 特筆すべき動物(オオタカ、ハイタカ、チョウゲンボウ)



写真 2-2-1 オオタカ等調査状況 (No.1) 令和 8 年 2 月 16 日



写真 2-2-2 オオタカ等調査状況 (No.2) 令和 8 年 2 月 16 日



写真 2-2-3 オオタカ等調査状況 (No.3) 令和 8 年 2 月 16 日



写真 2-2-4 オオタカ等調査状況 (No.4) 令和 8 年 2 月 16 日

2-3 特筆すべき動物(コアジサシ、オオヨシキリ、チュウサギ、サンコウチョウ)

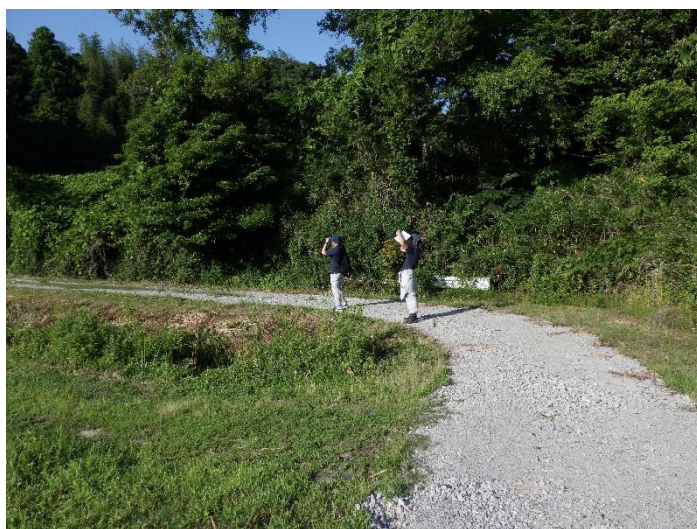


写真 2-3-1 オオヨシキリ他調査状況 令和 7 年 6 月 18 日

2 調査状況等写真
 2-4 特筆すべき動物(カスミサンショウウオ)



写真 2-4-1 移殖地整備状況（水路整備状況）移殖地No.A 令和8年1月16日



写真 2-4-2 移殖地整備状況（水路整備状況）移殖地No.B 令和8年1月16日



写真 2-4-3 移殖地整備状況（水路整備状況）移殖地No.C 令和8年1月16日



写真 2-4-4 調査風景（移植地No.A） 令和8年3月2日



写真 2-4-5 調査風景（移植地No.B） 令和8年3月11日



写真 2-4-6 調査風景（移植地No.C） 令和8年4月3日



写真 2-4-7 卵囊確認状況 (A-01) 令和 8 年 3 月 2 日



写真 2-4-8 卵囊確認状況 (A-02) 令和 8 年 3 月 2 日



写真 2-4-9 卵囊確認状況 (B-01, 02, 03, 04) 令和 8 年 3 月 2 日



写真 2-4-10 卵囊確認状況 (A-03) 令和 8 年 3 月 11 日



写真 2-4-11 卵囊確認状況 (A-04) 令和 8 年 3 月 11 日



写真 2-4-12 卵囊確認状況 (A-05, 06, 07, 08) 令和 8 年 3 月 11 日



写真 2-4-13 卵囊確認状況 (A-09) 令和 8 年 3 月 11 日



写真 2-4-14 卵囊確認状況 (A-10) 令和 8 年 3 月 11 日



写真 2-4-15 卵囊確認状況 (B-05) 令和 8 年 3 月 11 日

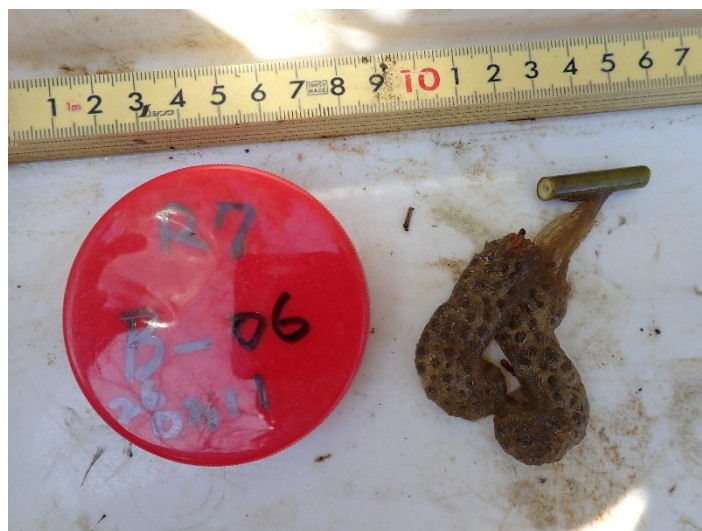


写真 2-4-16 卵囊確認状況 (B-06) 令和 8 年 3 月 11 日



写真 2-4-17 卵囊確認状況 (B-07) 令和 8 年 3 月 11 日



写真 2-4-18 卵囊確認状況 (B-08, 09, 10) 令和 8 年 3 月 11 日



写真 2-4-19 卵囊確認状況 (A-11, 12, 13, 14) 令和 8 年 4 月 3 日

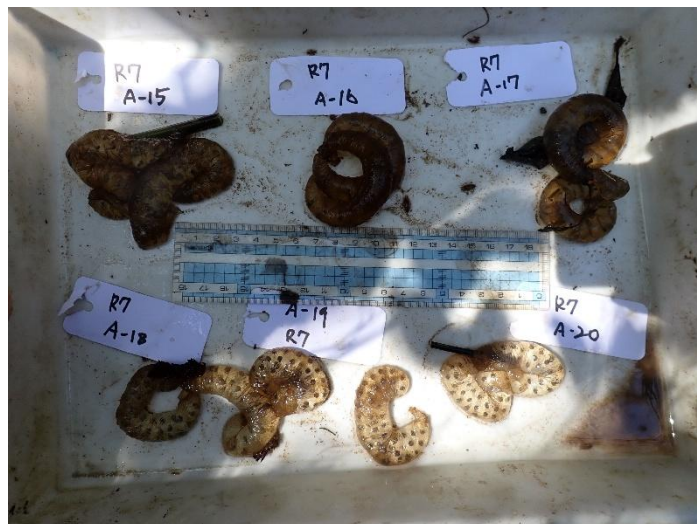


写真 2-4-20 卵囊確認状況 (A-15, 16, 17, 18, 19, 20) 令和 8 年 4 月 3 日



写真 2-4-21 卵囊確認状況 (B-11) 令和 8 年 4 月 3 日

2-5 特筆すべき動物(ダルマガエル)



写真 2-5-1 調査風景① 令和7年6月17日



写真 2-5-2 調査風景② 令和7年6月17日

計量証明書

514-0033

住 所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様

第 22-A2501031-002 号

2025年06月12日

計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号

三重県知事 音 圧 レベル 第104号

三重県知事 振動加速度レベル 第219号



一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森

三重県津市河芸町三野宮

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516

業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試料名称	調整池放流水	採取日時	2025年06月04日 13時50分	
採取場所	6号調整池出口		受付方法	出張採取

(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2025年06月04日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

[illegible]

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀨古 直樹



第 22-A2501031-003 号
2025年06月12日

514-0033

住 所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様



計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レベル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号

一般財団法人 三重県環境保全事業財団

理事長 森

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516

業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試料名称	河川水	採取日時	2025年06月04日	13時20分
採取場所	田中川(上流)		受付方法	出張採取

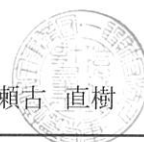
(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2025年06月04日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

[illegible]

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀨古 直樹



計量証明書

514-0033

住所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様

第 22-A2501045-002 号

2025年06月18日

計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号

三重県知事 音 圧 レベル 第104号

三重県知事 振動加速度レベル 第219号



一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516

業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試料名称	調整池放流水	採取日時	2025年06月12日 13時45分	
採取場所	6号調整池出口		受付方法	出張採取

(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2025年06月12日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

[illegible]

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹



第 22-A2501045-004 号
2025年06月18日

計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レベル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号

一般財団法人 三重県環境保全事業団

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516

試料名称	河川水	採取日時	2025年06月12日 14時10分	
採取場所	田中川(下流)		受付方法	出張採取

(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2025年06月12日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

[illegible]

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹

1/1

計量証明書

514-0033

住所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様

第 22-A2501282-004 号

2025年07月18日

計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号

三重県知事 音 圧 レベル 第104号

三重県知事 振動加速度レベル 第219号



一般財団法人 三重県環境保全審議会

理事長 森

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516

業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試料名称	河川水	採取日時	2025年07月15日 10時00分	
採取場所	田中川(下流)		受付方法	出張採取

(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2025年07月15日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

[illegible]

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹



第 22-A2502882-003 号
2026年03月04日

計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レベル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号

一般財団法人 三重県環境保全事業団

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516

試料名称	河川水	採取日時	2026年02月26日	15時30分
採取場所	田中川(上流)		受付方法	出張採取

2026年02月26日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

[illegible]

環境計量士 瀨古 直樹

第 22-A2502904-001 号
2026年03月10日

514-0033

住 所 三重県津市丸之内9-18



計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レベル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号

氏 名 三交不動産株式会社 様

一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516

業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試料名称	調整池放流水	採取日時	2026年03月05日	13時45分
採取場所	5号調整池出口		受付方法	出張採取

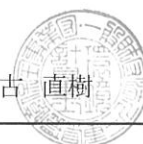
(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2026年03月05日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

[illegible]

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹



計量証明書

514-0033

住所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様

第 22-A2502904-002 号

2026年03月10日

計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号

三重県知事 音 圧 レベル 第104号

三重県知事 振動加速度レベル 第219号



一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516

業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試料名称	調整池放流水	採取日時	2026年03月05日 13時30分
採取場所	6号調整池出口	受付方法	出張採取

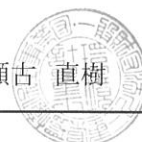
(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2026年03月05日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

[illegible]

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹



計 量 証 明 書

第 22-A2502904-003 号
2026年03月10日

〒 514-0033

住 所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様



計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レ ベ ル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号

一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516



業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試 料 名 称	河川水	採 取 日 時	2026年03月05日 14時15分
採 取 場 所	田中川(上流)	受 付 方 法	出張採取

(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2026年03月05日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

計 量 の 対 象	計 量 結 果	単 位	計 量 の 方 法
浮遊物質(SS)	2.1	mg/L	昭和46年環告59号付表8
* 濁度	1.7	度	JIS K 0102-1 9.5
			以下 余白

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹



第 22-A2502947-003 号
2026年04月08日

514-0033

住所 三重県津市丸之内9-18



計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レベル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号

氏 名 三交不動産株式会社 様

一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516

業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試料名称	河川水	採取日時	2026年03月27日	11時05分
採取場所	田中川(上流)		受付方法	出張採取

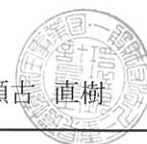
(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2026年03月27日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

[illegible]

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹



計 量 証 明 書

第 22-A2501570-002 号
2025年08月28日

〒 514-0033

住 所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様



計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レ ベ ル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号

一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516



業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試 料 名 称	河川水	採 取 日 時	2025年08月14日 14時00分
採 取 場 所	田中川(放流先下流)	受 付 方 法	出張採取

(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2025年08月14日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

計 量 の 対 象	計 量 結 果	単 位	計 量 の 方 法
* 流量	14	m ³ /分	JIS K 0094 8
水素イオン濃度(pH)/測定時水温	7.7/20	/℃	JIS K 0102-1 12
生物化学的酸素要求量(BOD)	2.9	mg/L	JIS K 0102-1 18
化学的酸素要求量(COD)	7.0	mg/L	JIS K 0102-1 17.2
浮遊物質(SS)	19	mg/L	昭和46年環告59号付表8
溶存酸素／水温℃	6.5/30.5	mg/L	JIS K 0102-1 21.5
* 大腸菌数	460	CFU/100mL	JIS K 0102-5 5.6.2
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出せず(0.5未満)	mg/L	JIS K 0102-1 22.5
全窒素	1.1	mg/L	JIS K 0102-2 17.5
全燐	0.23	mg/L	JIS K 0102-2 18.4.6
* 水温	30.5	℃	JIS K 0102-1 6.3
			以下 余白

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹



計 量 証 明 書

第 22-A2501570-001 号
2025年08月28日

〒 514-0033

住 所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様



計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レ ベ ル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号

一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森 博洋

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516



業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試 料 名 称	河川水	採 取 日 時	2025年08月14日 13時30分
採 取 場 所	田中川(上流)	受 付 方 法	出張採取

(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2025年08月14日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

計 量 の 対 象	計 量 結 果	単 位	計 量 の 方 法
* 流量	1.1	m ³ /分	JIS K 0094 8
水素イオン濃度(pH)/測定時水温	7.7/20	/℃	JIS K 0102-1 12
生物化学的酸素要求量(BOD)	0.8	mg/L	JIS K 0102-1 18
化学的酸素要求量(COD)	4.6	mg/L	JIS K 0102-1 17.2
浮遊物質(SS)	10	mg/L	昭和46年環告59号付表8
溶存酸素/水温℃	7.9/29.4	mg/L	JIS K 0102-1 21.5
* 大腸菌数	170	CFU/100mL	JIS K 0102-5 5.6.2
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出せず(0.5未満)	mg/L	JIS K 0102-1 22.5
全窒素	0.37	mg/L	JIS K 0102-2 17.5
全燐	0.12	mg/L	JIS K 0102-2 18.4.6
* 水温	29.4	℃	JIS K 0102-1 6.3
			以下 余白

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹



計 量 証 明 書

〒 514-0033

住 所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様

第 22-C2504720-002 号

2025年11月06日

計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レベル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号



一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516



業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試料名称	河川水	採取日時	2025年10月23日 10時40分
採取場所	田中川(下流)	受付方法	出張採取

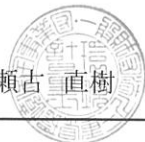
(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2025年10月23日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

計 量 の 対 象	計 量 結 果	単 位	計 量 の 方 法
* 流量	4.6	m ³ /分	JIS K 0094 8
水素イオン濃度(pH)/測定時水温	8.0/20	/℃	JIS K 0102-1 12
生物化学的酸素要求量(BOD)	1.3	mg/L	JIS K 0102-1 18
化学的酸素要求量(COD)	4.2	mg/L	JIS K 0102-1 17.2
浮遊物質(SS)	2.4	mg/L	昭和46年環告59号付表8
溶存酸素／水温℃	13/21.5	mg/L	JIS K 0102-1 21.5
* 大腸菌数	460	CFU/100mL	JIS K 0102-5 5.6.2
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出せず(0.5未満)	mg/L	JIS K 0102-1 22.5
全窒素	1.4	mg/L	JIS K 0102-2 17.5
全燐	0.11	mg/L	JIS K 0102-2 18.4.6
* 水温	21.5	℃	JIS K 0102-1 6.3
			以下 余白

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹



計 量 証 明 書

〒 514-0033

住 所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様

第 22-C2504720-001 号

2025年11月06日

計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レベル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号



一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森 博

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516



業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試料名称	河川水	採取日時	2025年10月23日 10時00分
採取場所	田中川(上流)	受付方法	出張採取

(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2025年10月23日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

計 量 の 対 象	計 量 結 果	単 位	計 量 の 方 法
* 流量	1.6	m ³ /分	JIS K 0094 8
水素イオン濃度(pH)/測定時水温	7.5/20	/℃	JIS K 0102-1 12
生物化学的酸素要求量(BOD)	0.5未満	mg/L	JIS K 0102-1 18
化学的酸素要求量(COD)	4.0	mg/L	JIS K 0102-1 17.2
浮遊物質(S)	3.5	mg/L	昭和46年環告59号付表8
溶存酸素／水温℃	9.6/16.4	mg/L	JIS K 0102-1 21.5
* 大腸菌数	70	CFU/100mL	JIS K 0102-5 5.6.2
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出せず(0.5未満)	mg/L	JIS K 0102-1 22.5
全窒素	0.54	mg/L	JIS K 0102-2 17.5
全燐	0.063	mg/L	JIS K 0102-2 18.4.6
* 水温	16.4	℃	JIS K 0102-1 6.3
			以下 余白

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹



計 量 証 明 書

〒 514-0033

住 所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様

第 22-A2502563-002 号
2026年01月09日

計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レ ベ ル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号



一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516



業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試 料 名 称	河川水	採 取 日 時	2025年12月19日 10時00分
採 取 場 所	田中川(放流先下流)	受 付 方 法	出張採取

(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2025年12月19日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

計 量 の 対 象	計 量 結 果	単 位	計 量 の 方 法
* 流量	1.6	m ³ /分	JIS K 0094 8
水素イオン濃度(pH)/測定時水温	7.7/20	/℃	JIS K 0102-1 12
生物化学的酸素要求量(BOD)	1.3	mg/L	JIS K 0102-1 18
化学的酸素要求量(COD)	3.8	mg/L	JIS K 0102-1 17.2
浮遊物質(SS)	4.9	mg/L	昭和46年環告59号付表8
溶存酸素／水温℃	13/7.4	mg/L	JIS K 0102-1 21.5
* 大腸菌数	220	CFU/100mL	JIS K 0102-5 5.6.2
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出せず(0.5未満)	mg/L	JIS K 0102-1 22.5
全窒素	1.2	mg/L	JIS K 0102-2 17.5
全燐	0.093	mg/L	JIS K 0102-2 18.4.6
* 水温	7.4	℃	JIS K 0102-1 6.3
			以下 余白

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹



計 量 証 明 書

〒 514-0033

住 所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様

第 22-A2502563-001 号
2026年01月09日

計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レ ベ ル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号



一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516



業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試 料 名 称	河川水	採 取 日 時	2025年12月19日 9時15分
採 取 場 所	田中川(上流)	受 付 方 法	出張採取

(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2025年12月19日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

計 量 の 対 象	計 量 結 果	単 位	計 量 の 方 法
* 流量	1.1	m ³ /分	JIS K 0094 8
水素イオン濃度(pH)/測定時水温	7.4/20	/℃	JIS K 0102-1 12
生物化学的酸素要求量(BOD)	0.5未満	mg/L	JIS K 0102-1 18
化学的酸素要求量(COD)	2.9	mg/L	JIS K 0102-1 17.2
浮遊物質(SS)	1.8	mg/L	昭和46年環告59号付表8
溶存酸素／水温℃	12/4.9	mg/L	JIS K 0102-1 21.5
* 大腸菌数	45	CFU/100mL	JIS K 0102-5 5.6.2
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出せず(0.5未満)	mg/L	JIS K 0102-1 22.5
全窒素	0.32	mg/L	JIS K 0102-2 17.5
全燐	0.035	mg/L	JIS K 0102-2 18.4.6
* 水温	4.9	℃	JIS K 0102-1 6.3
			以下 余白

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹



計 量 証 明 書

第 22-A2502946-002 号
2026年04月02日

〒 514-0033

住 所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様



計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レ ベ ル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号

一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516



業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試 料 名 称	河川水	採 取 日 時	2026年03月24日 11時10分
採 取 場 所	田中川(放流先下流)	受 付 方 法	出張採取

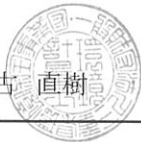
(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2026年03月24日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

計 量 の 対 象	計 量 結 果	単 位	計 量 の 方 法
* 流量	20	m ³ /分	JIS K 0094 8
水素イオン濃度(pH)/測定時水温	7.5/20	/℃	JIS K 0102-1 12
生物化学的酸素要求量(BOD)	3.4	mg/L	JIS K 0102-1 18
化学的酸素要求量(COD)	7.3	mg/L	JIS K 0102-1 17.2
浮遊物質(SS)	33	mg/L	昭和46年環告59号付表8
溶存酸素／水温℃	7.9/18.1	mg/L	JIS K 0102-1 21.5
* 大腸菌数	560	CFU/100mL	JIS K 0102-5 5.6.2
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出せず(0.5未満)	mg/L	JIS K 0102-1 22.5
全窒素	2.2	mg/L	JIS K 0102-2 17.5
全燐	0.54	mg/L	JIS K 0102-2 18.4.6
* 水温	18.1	℃	JIS K 0102-1 6.3
			以下 余白

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹



計 量 証 明 書

〒 514-0033

住 所 三重県津市丸之内9-18

氏 名 三交不動産株式会社 様



第 22-A2502946-001 号
2026年04月02日

計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号
三重県知事 音 圧 レ ベ ル 第104号
三重県知事 振動加速度レベル 第219号

一般財団法人 三重県環境保全事業団

理事長 森

三重県津市河芸町

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516



業務名 杜の街 環境アセスメントに係る事後調査(令和7年度分)

試 料 名 称	河川水	採 取 日 時	2026年03月24日 10時40分
採 取 場 所	田中川(上流)	受 付 方 法	出張採取

(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2026年03月24日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

計 量 の 対 象	計 量 結 果	単 位	計 量 の 方 法
* 流量	1.4	m ³ /分	JIS K 0094 8
水素イオン濃度(pH)/測定時水温	7.8/20	/℃	JIS K 0102-1 12
生物化学的酸素要求量(BOD)	0.8	mg/L	JIS K 0102-1 18
化学的酸素要求量(COD)	3.8	mg/L	JIS K 0102-1 17.2
浮遊物質(SS)	2.1	mg/L	昭和46年環告59号付表8
溶存酸素／水温℃	12/11.7	mg/L	JIS K 0102-1 21.5
* 大腸菌数	75	CFU/100mL	JIS K 0102-5 5.6.2
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出せず(0.5未満)	mg/L	JIS K 0102-1 22.5
全窒素	0.33	mg/L	JIS K 0102-2 17.5
全燐	0.059	mg/L	JIS K 0102-2 18.4.6
* 水温	11.7	℃	JIS K 0102-1 6.3
			以下 余白

(特記事項) *印の項目は計量証明の対象外です。

環境計量士 瀬古 直樹

